



令和 5 年度  
第 1 回 足立区政に関する世論調査  
(小規模調査)  
調査報告書

《児童が安全に下校するための見守りについて》

足立区 政策経営部 区政情報課

令和 6 年 1 月 発行



# 目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の時期	3
3 今回の区政モニター数、回答者数	3
4 回答者の構成と属性	3
5 報告書の見方	6
第2章 調査結果3つのポイント及び今後の方針	7
1 調査結果3つのポイント	9
(1) 子ども見守り活動への参加の呼びかけの徹底	9
(2) 下校時安全放送の継続と放送内容の改善	11
(3) 「ながら見守り」の登録制度や活動内容の周知啓発	13
第3章 調査結果の詳細	15
1 地域での子ども見守り活動の必要性	20
2 地域での子ども見守り活動への参加経験	23
3 見守り活動へ参加した理由	25
4 見守り活動への参加頻度	26
5 見守り活動への参加した感想	27
6 見守り活動への参加意向	28
7 見守り活動に参加するためのきっかけ	29
8 「ながら見守り」登録制度の認知度	30
9 「ながら見守り」活動内容の認知度	32
10 「ながら見守り」活動の効果	34
11 「ながら見守り」活動の効果がないと思う理由	35
12 「下校時安全放送」の認知度	36
13 「下校時安全放送」の聞こえ方	38
14 「下校時安全放送」の音量	40
15 「下校時安全放送」を聞いての見守り活動への参加経験	41
16 「下校時安全放送」の見守り活動への啓発効果の有無	42
17 「下校時安全放送」の効果的な回数	45
18 「下校時安全放送」が見守り活動への啓発効果が無いと思う理由	46
19 「下校時安全放送」に効果が出ると思う方法	47
20 「下校時安全放送」の他に下校時に合わせて見守り活動ができると思う手段	48
21 地域での見守り活動以外で効果的だと思うこと	50
22 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え	51
第4章 調査票	53



# 第 1 章 調査の概要



## 1 調査の目的

本調査は、児童の地域での見守りの必要性及び児童下校時の安全放送の有効性について、子育て世帯（小学生）以外の区民も含めて調査し、児童の下校時の安全確保事業の推進を図ることを目的に実施いたしました。

## 2 調査の時期

令和5年7月10日（月）～7月31日（月）

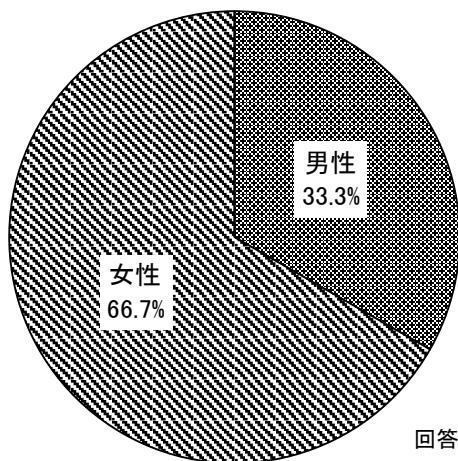
## 3 今回の区政モニター数、回答者数

区政モニター数	198人
回答者数	186人（回答率93.9%）
[内訳]	
郵便回答	58人（31.2%）
インターネット回答	128人（68.8%）

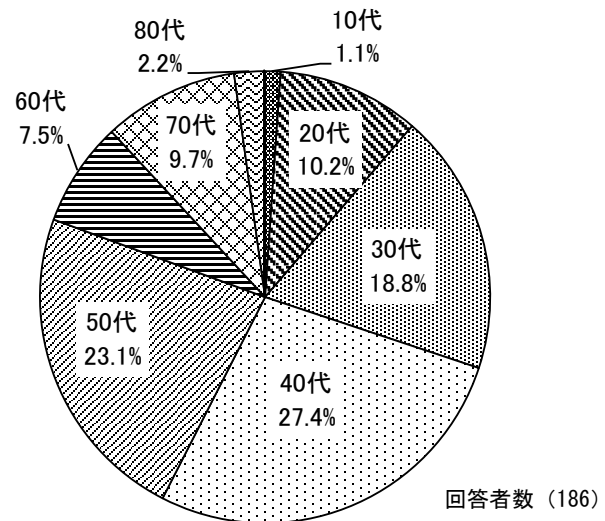
## 4 回答者の構成と属性

(1) 性別、年代別割合（全体）

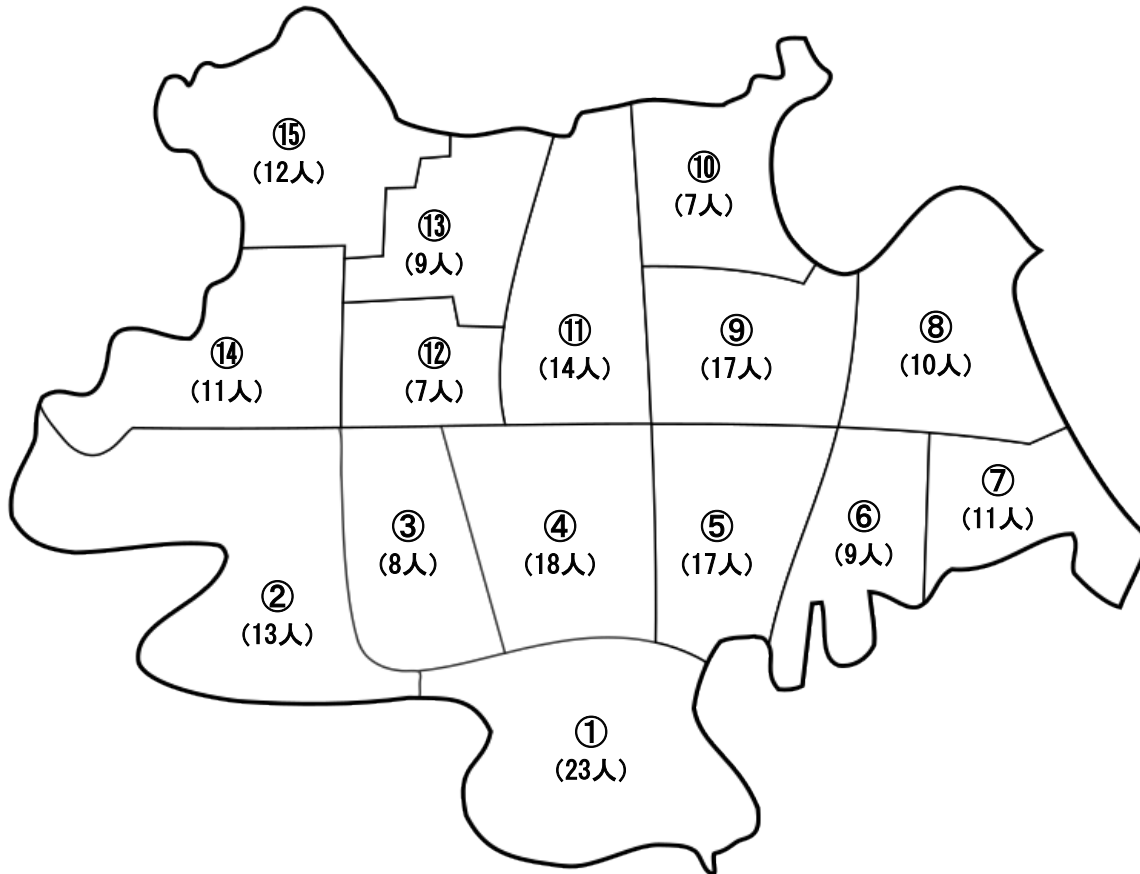
【性別】



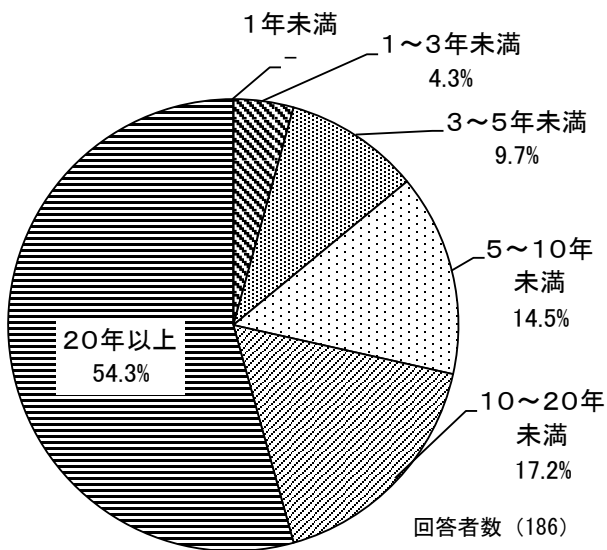
【年代】



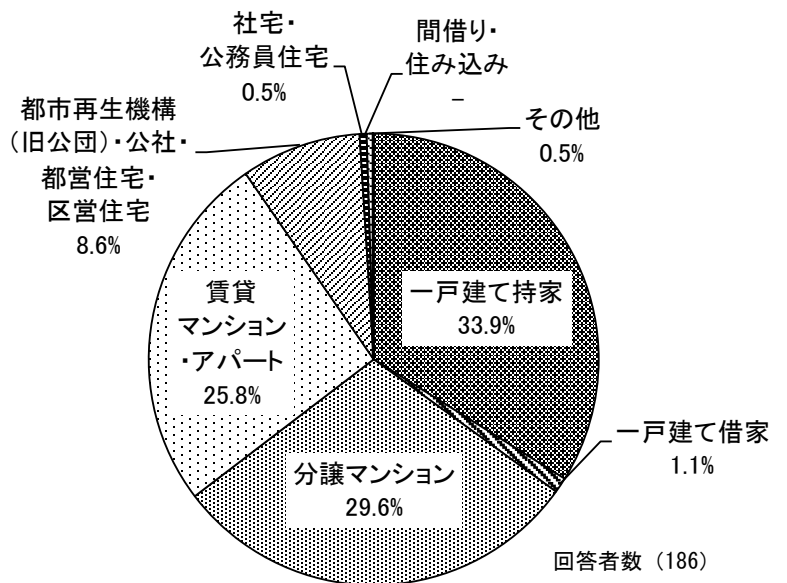
(2) 地域別人数 (上段：地域番号、下段：人数)



(3) 居住年数

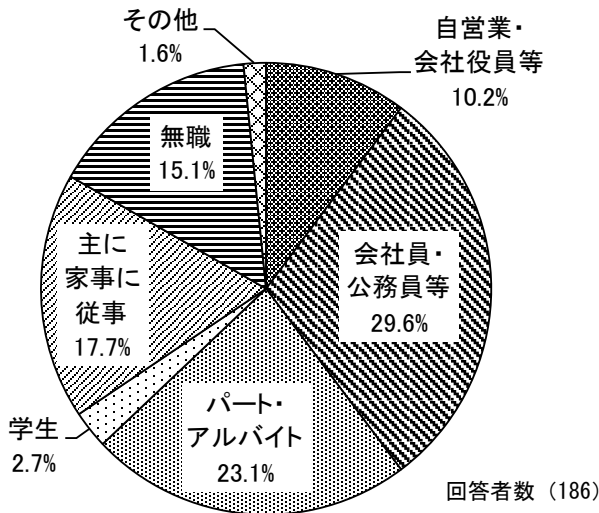


(4) 住居形態

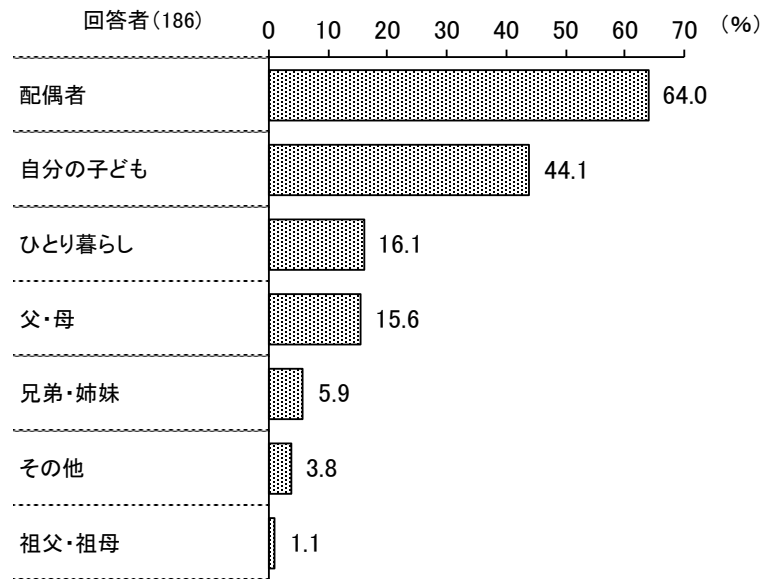




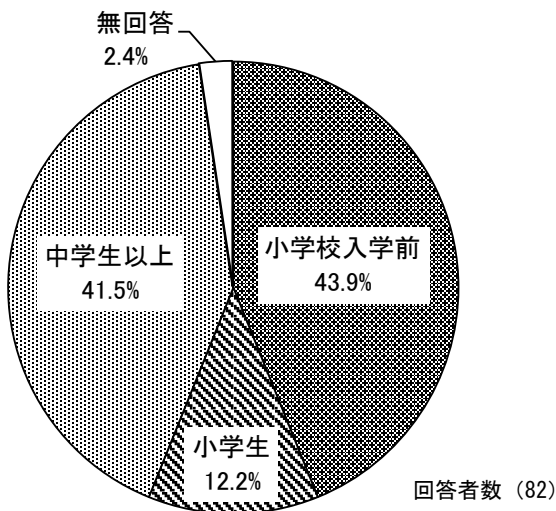
(5) 職業



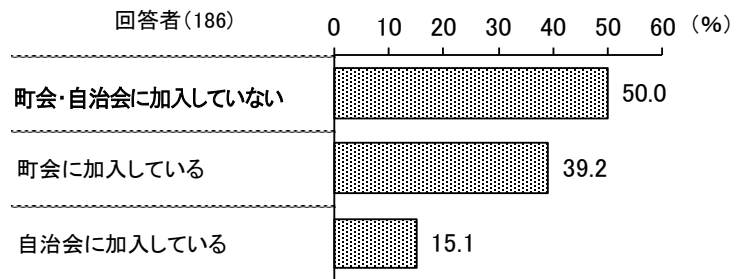
(6) 同居家族



(7) 末子の年代



(8) 町会・自治会の加入状況



## 5 報告書の見方

- (1) 回答比率 (%) は、その設問の回答者を基礎として算出しました。小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで示したもので、比率の合計が 100.0%に満たない、または上回る場合があります。
- (2) 複数回答の設問は、すべて比率を合計すると 100.0%を上回る場合があります。
- (3) 本報告書のグラフ表記について、前問の回答に応じて回答者を限定している該当設問において、回答者数が 100 人に満たない場合は、「年代別」や「年代層別」のグラフは割愛して、全体結果のみの表記と分析としております。

## 第2章 調査結果3つのポイント 及び今後の方針

《調査から見えてきた3つのポイント》

- (1) 子ども見守り活動への参加の呼びかけの徹底
- (2) 下校時安全放送の継続と放送内容の改善
- (3) 「ながら見守り」の登録制度や活動内容の周知啓発



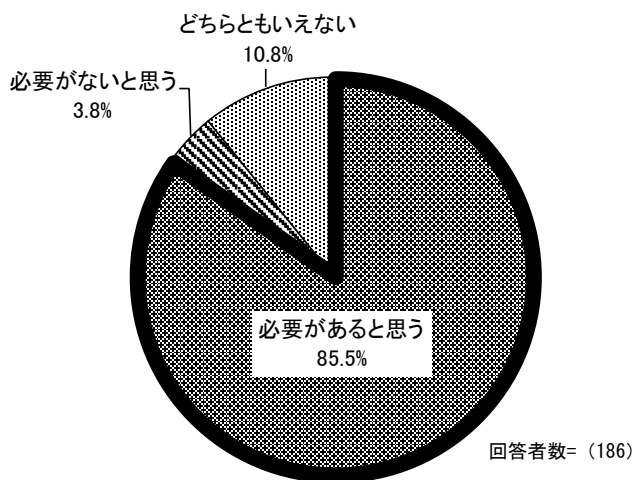
# 1 調査結果3つのポイント

## (1) 子ども見守り活動への参加の呼びかけの徹底

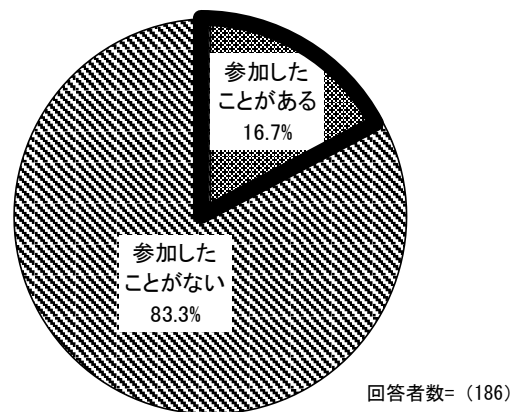
### ア 現状

(ア) 地域で子どもを見守る活動が必要だと思う人は85.5%と、多くの人々に理解されている一方で、実際に活動に「参加したことがある」と回答した人は16.7%と少ない状況にある。

<地域での子ども見守り活動の必要性>

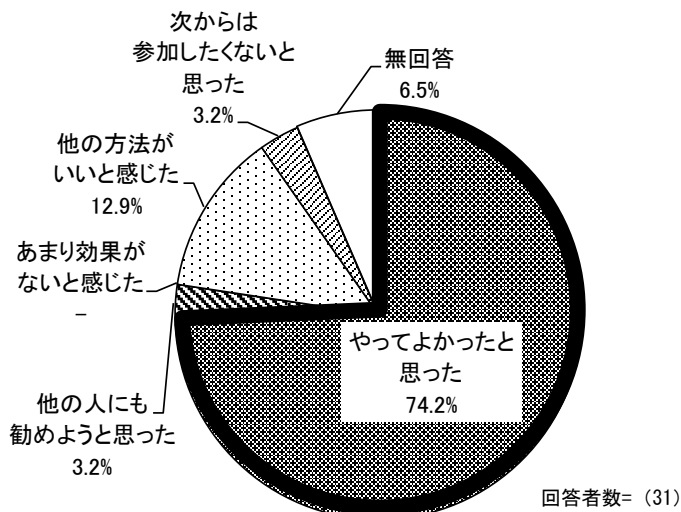


<地域での子ども見守り活動への参加経験>

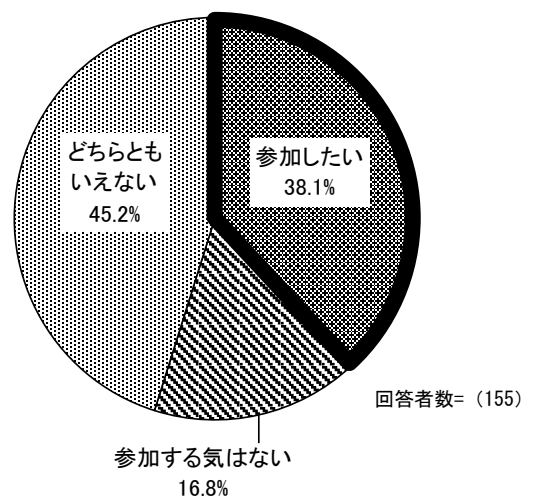


(イ) 実際に児童の見守り活動に参加した人の74.2%は、「やってよかった」とやりがいを感じている。また参加したことがない人の中にも、条件が合えば、あるいはきっかけがあれば「参加したい」と思っている人が38.1%と少なからずいることが分かった。

<見守り活動への参加した感想>

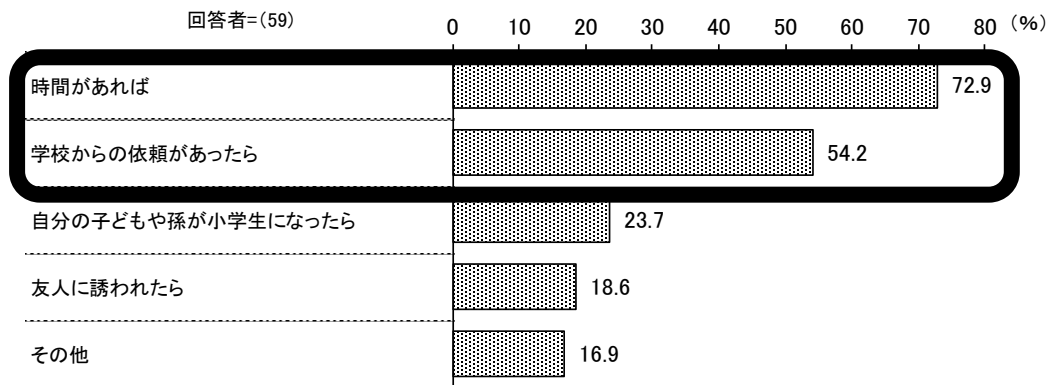


<見守り活動への参加意向>



(ウ) 見守り活動に参加しようと思うきっかけについては、「時間があれば」(72.9%)に次いで、「学校からの依頼があれば」(54.2%)との回答もあり、時間に余裕がない中でも、学校には協力したい気持ちを持っている人が一定数いることがうかがえる。

<見守り活動に参加するためのきっかけ>



## イ 今後の取り組み方針（呼びかけの徹底のために）

(ア) 「あだち教育だより」で、本調査の結果を紹介するとともに、地域で子どもを見守る活動への参加を呼びかける。

(イ) 開かれた学校づくり協議会において、本調査の結果について説明するとともに、学校から、見守り活動への参加や「ながら見守り」の登録への協力を求める。

(ウ) 開かれた学校づくり協議会等の機会を捉えて、地域で子どもを見守る活動の必要性を説明し、協議会委員を通じて、地域への理解促進を図っていく。

(エ) 具体的には、地域の防犯に詳しい専門家等による講演会を実施し、子どもが犯罪に巻き込まれた事例や、子どもたちの安全を守る教育について理解を深め、正しい見守りの方法や注意点などを共有する。

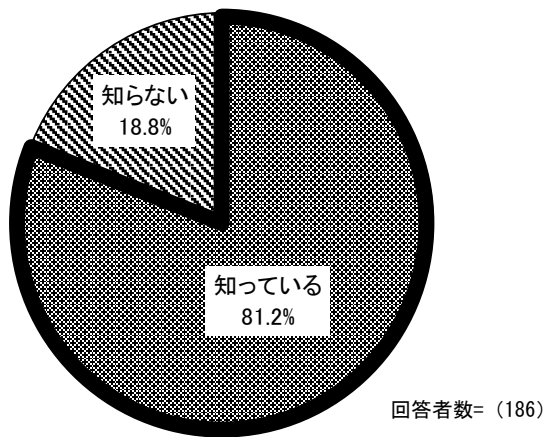
(オ) 学務課が作成を進めている通学路安全マップについて、保護者や開かれた学校づくり協議会の委員等へ開示し、危険箇所を共有することで、見守り効果の最大化を図る。

(2) 下校時安全放送の継続と放送内容の改善

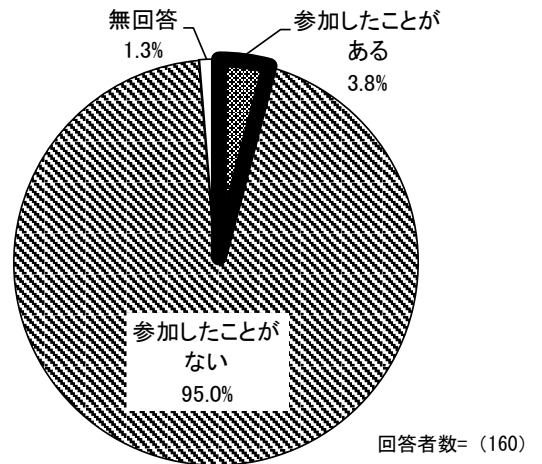
ア 現状

(ア) 下校時安全放送を「知っている」と回答した人は8割を超えるが、放送を聞いて実際に児童の下校時間帯に見守りに「参加したことがある」と回答した人は3.8%とわずかであった。

<「下校時安全放送」の認知度>



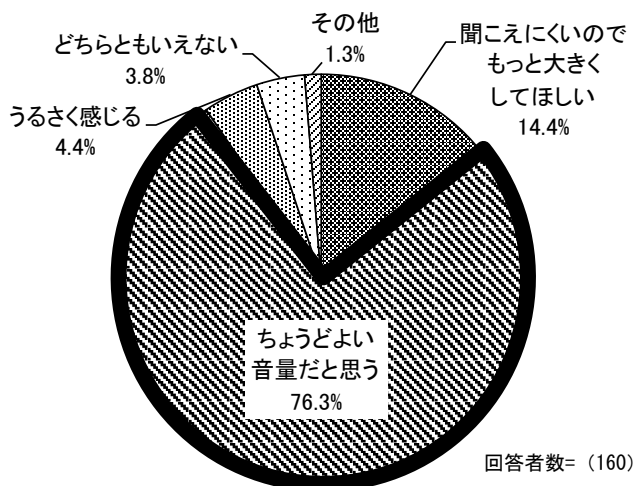
<「下校時安全放送」を聞いての見守り活動への参加経験>



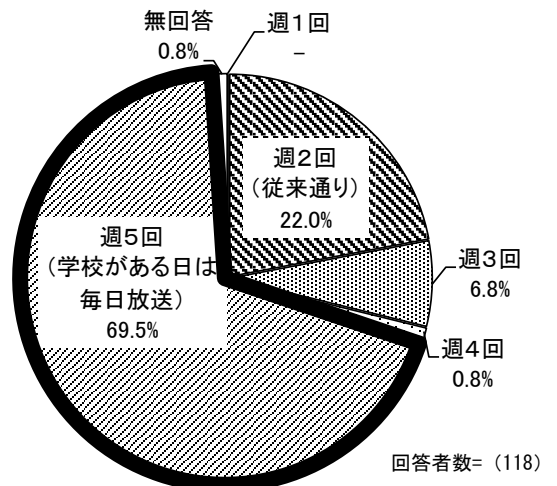
(イ) 放送の音量については「ちょうどよい音量」(76.3%)が最も多く、次いで「もっと大きくしてほしい」(14.4%)であり、「うるさく感じる」は4.4%と少数であった。

効果的な放送回数については「学校がある日は毎日」(69.5%)が最も高く、次いで「週2回(従来通り)」(22.0%)であった。

<「下校時安全放送」の音量>



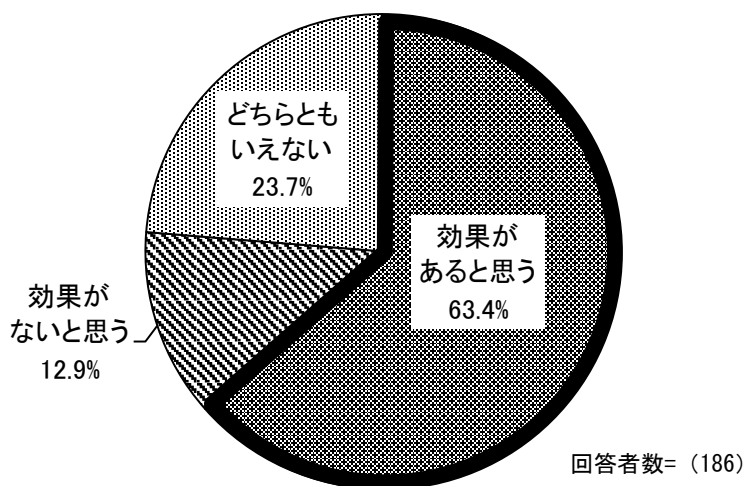
<「下校時安全放送」の効果的な回数>



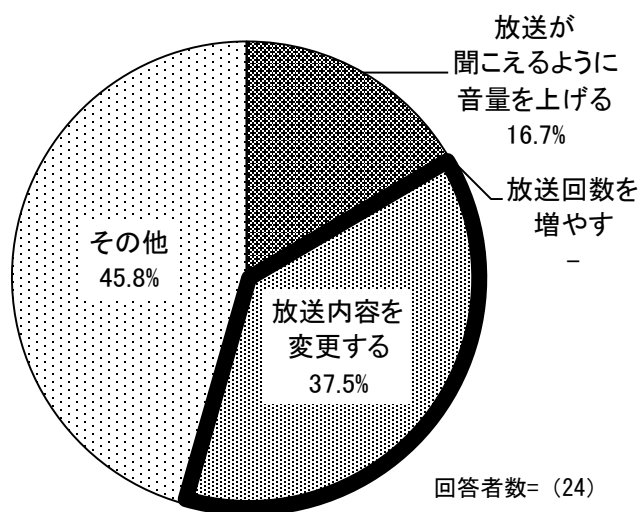
(ウ) 放送が区民の見守り意識の啓発に効果があると思っている人は6割を超える支持を得たが、「効果がない」「どちらともいえない」を合わせると4割弱に上る。

「効果がない」と回答した人のうち、37.5%の人が「放送内容を変更する」ことで放送の効果を高められると回答。また、放送以外に効果がある方法について、「メールでもお知らせする」が37.6%、「町会・学校で当番を決める」が34.9%であった。

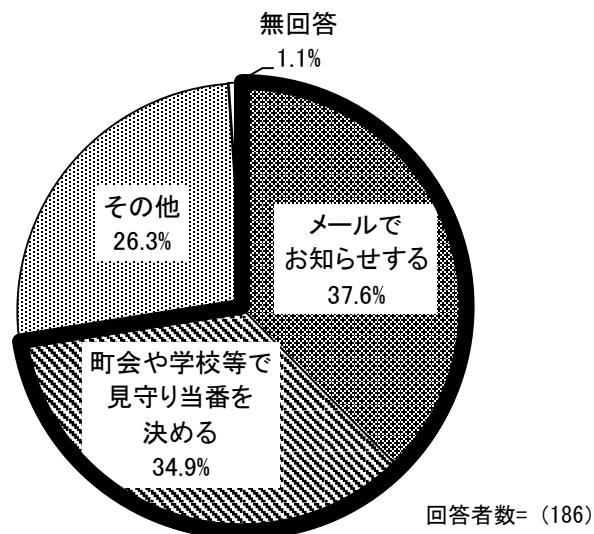
<「下校時安全放送」の見守り活動への啓発効果の有無>



<「下校時安全放送」に効果が出ると思う方法>



<「下校時安全放送」の他に下校時に合わせて見守り活動ができると思う手段>





イ 今後の取り組み方針（見守りへの参加につなげるために）

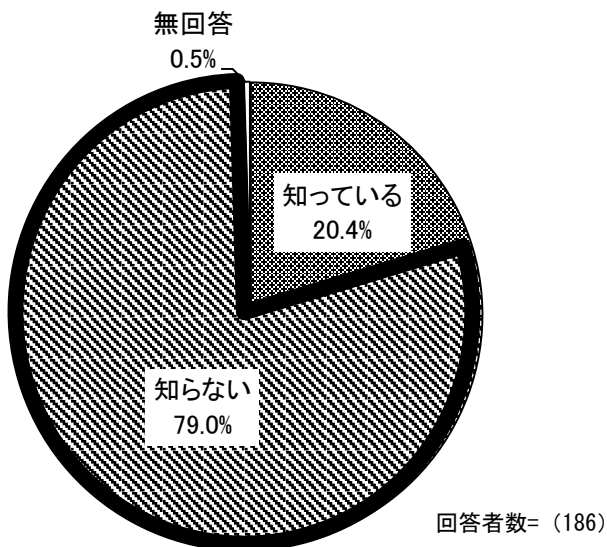
- （ア）下校時安全放送については、現行どおり、長期休業期間中を除く月曜日と木曜日の週2回の実施を維持、継続していく。
- （イ）見守りへの参加につながる効果的な放送内容を研究する。
- （ウ）足立区公式SNSや、学校情報配信アプリ「C4th Home&School」を活用して、定期的に見守りへの協力を求める情報を発信し、放送だけによらないアナウンスを実施する。

（3）「ながら見守り」の登録制度や活動内容の周知啓発

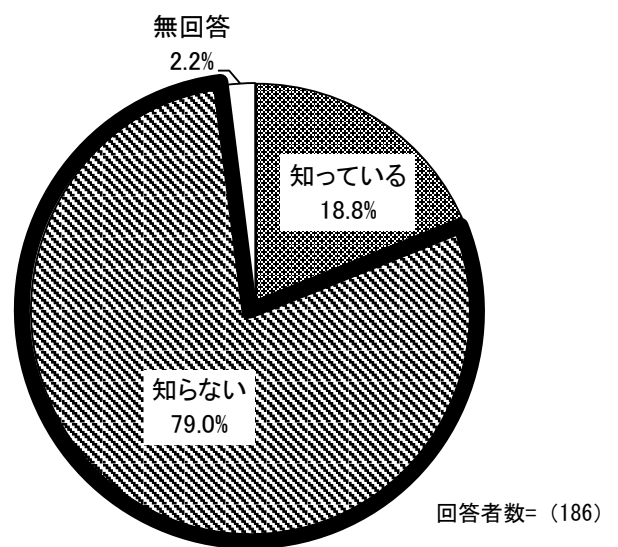
ア 現状

- （ア）「ながら見守り」の登録制度、活動内容について「知っている」と回答した人は2割前後にとどまる。
- （イ）活動内容を知っている人の多くは、「ながら見守り」が不審者対策や児童の安心、交通事故防止など多方面に効果的であると回答している。

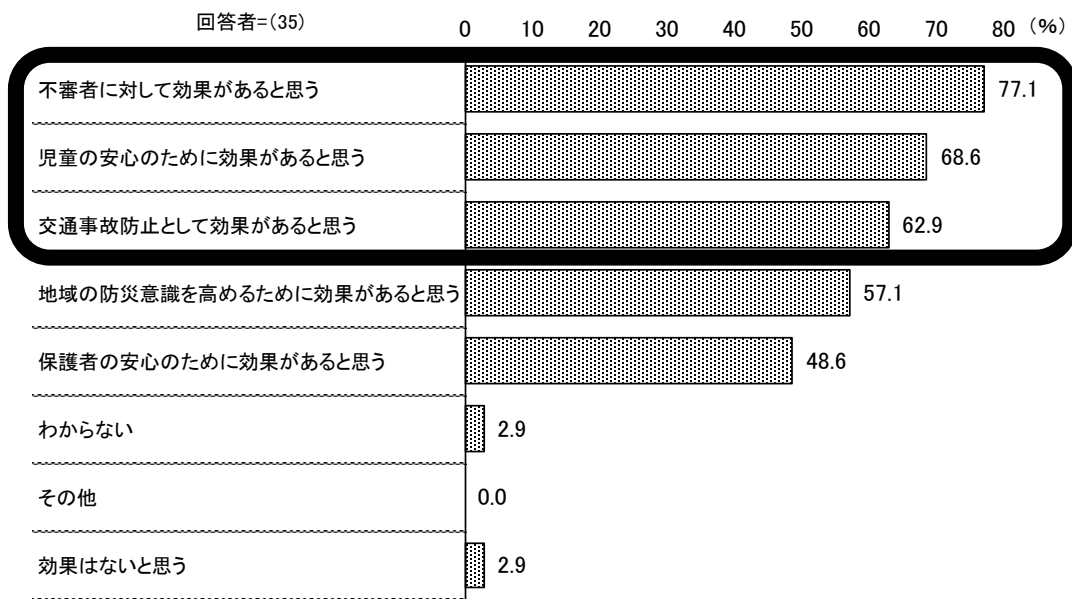
<「ながら見守り」登録制度の認知度>



<「ながら見守り」活動内容の認知度>



<「ながら見守り」活動の効果>



イ 今後の取り組み方針（周知啓発のために）

開かれた学校づくり協議会等において、危機管理課と連携して「ながら見守り」が不審者対策等に資する実例を紹介しつつ、周知啓発を図るとともに、登録への協力を求める。

## 第3章 調査結果の詳細



## 設問体系と回答の概要

<b>1 地域での子ども見守り活動の必要性</b> . . . . .	<b>P20</b>
(1) 「必要があると思う」 85.5%	
(2) 「必要がないと思う」 3.8%	
(3) 「どちらともいえない」 10.8%	
<b>2 地域での子ども見守り活動への参加経験</b> . . . . .	<b>P23</b>
(1) 「参加したことがない」 83.3%	
(2) 「参加したことがある」 16.7%	
<b>3 見守り活動へ参加した理由</b> . . . . .	<b>P25</b>
(1) 「地域に住む子どもの安全が心配だったから」 51.6%	
(2) 「自分の子どもが心配だったから」 35.5%	
(3) 「その他」 38.7%	
<b>4 見守り活動への参加頻度</b> . . . . .	<b>P26</b>
(1) 「年に数回程度」 38.7%	
(2) 「月に数回程度」 25.8%	
<b>5 見守り活動への参加した感想</b> . . . . .	<b>P27</b>
(1) 「やってよかったと思った」 74.2%	
(2) 「他の方法がいいと感じた」 12.9%	
<b>6 見守り活動への参加意向</b> . . . . .	<b>P28</b>
(1) 「参加したい」 38.1%	
(2) 「参加する気はない」 16.8%	
(3) 「どちらともいえない」 45.2%	
<b>7 見守り活動に参加するためのきっかけ</b> . . . . .	<b>P29</b>
(1) 「時間があれば」 72.9%	
(2) 「学校からの依頼があつたら」 54.2%	
<b>8 「ながら見守り」登録制度の認知度</b> . . . . .	<b>P30</b>
(1) 「知らない」 79.0%	
(2) 「知っている」 20.4%	
<b>9 「ながら見守り」活動内容の認知度</b> . . . . .	<b>P32</b>
(1) 「知らない」 79.0%	
(2) 「知っている」 18.8%	

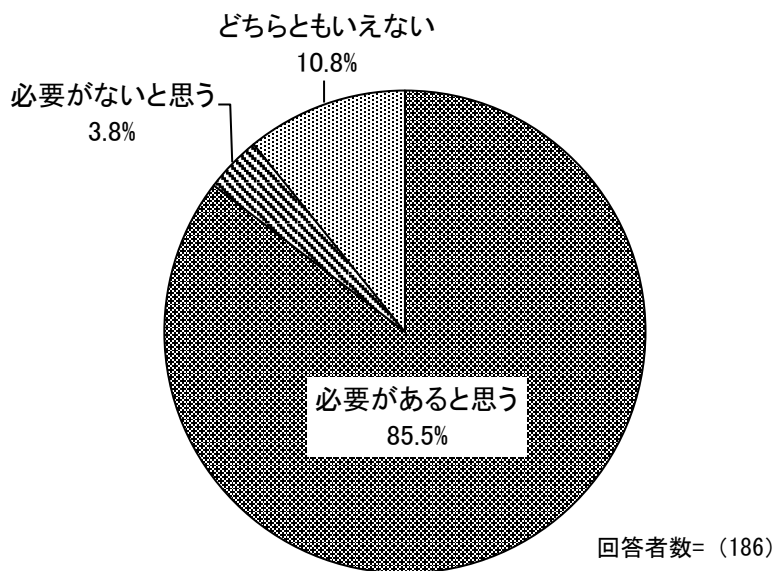
10	「ながら見守り」活動の効果	P34
	(1) 「不審者に対して効果があると思う」 77.1%	
	(2) 「児童の安心のために効果があると思う」 68.6%	
11	「ながら見守り」活動の効果がないと思う理由	P35
	【内容ごとの意見数】	
	(1) 「実際に機能している場面を見ない」 1件	
12	「下校時安全放送」の認知度	P36
	(1) 「知っている」 81.2%	
	(2) 「知らない」 18.8%	
13	「下校時安全放送」の聞こえ方	P38
	(1) 「内容までしっかり聞こえている」 59.1%	
	(2) 「音は聞こえてはいるが、内容はよくわからない」 15.1%	
14	「下校時安全放送」の音量	P40
	(1) 「ちょうどよい音量だと思う」 76.3%	
	(2) 「聞こえにくいのでもっと大きくしてほしい」 14.4%	
15	「下校時安全放送」を聞いての見守り活動への参加経験	P41
	(1) 「参加したことがない」 95.0%	
	(2) 「参加したことがある」 3.8%	
16	「下校時安全放送」の見守り活動への啓発効果の有無	P42
	(1) 「効果があると思う」 63.4%	
	(2) 「効果がないと思う」 12.9%	
	(3) 「どちらともいえない」 23.7%	
17	「下校時安全放送」の効果的な回数	P45
	(1) 「週5回（学校がある日は毎日放送）」 69.5%	
	(2) 「週2回（従来通り）」 22.0%	
18	「下校時安全放送」が見守り活動への啓発効果が無いと思う理由	P46
	(1) 「下校時安全放送を聞いても、見守り活動に参加しようと思わなかったから」 45.8%	
	(2) 「下校時安全放送が聞こえないから」 20.8%	
	(3) 「その他」 33.3%	

- 19 「下校時安全放送」に効果が出ると思う方法 . . . . . P47**
- (1) 「放送内容を変更する」 37.5%
  - (2) 「放送が聞こえるように音量を上げる」 16.7%
  - (3) 「その他」 45.8%
- 20 「下校時安全放送」の他に下校時に合わせて見守り活動ができると思う手段 . . . . . P48**
- (1) 「メールでお知らせする」 37.6%
  - (2) 「町会や学校等で見守り当番を決める」 34.9%
- 21 地域での見守り活動以外で効果的だと思うこと . . . . . P50**
- 【内容ごとの意見数】
- (1) 「地域活動・協力について」 37 件
  - (2) 「治安システムについて」 26 件
  - (3) 「集団下校・所持物など」 21 件
  - (4) 「パトロールに関すること」 13 件
  - (5) 「道路・車など交通に関すること」 12 件
  - (6) 「子どもへの教育・意識づけについて」 9 件
  - (7) 「その他」 29 件
- 22 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え . . . . . P51**
- (1) 「そう思う」(計) 88.7%
  - (2) 「そう思わない」 5.4%

## 1 地域での子ども見守り活動の必要性

### (1) 単純集計

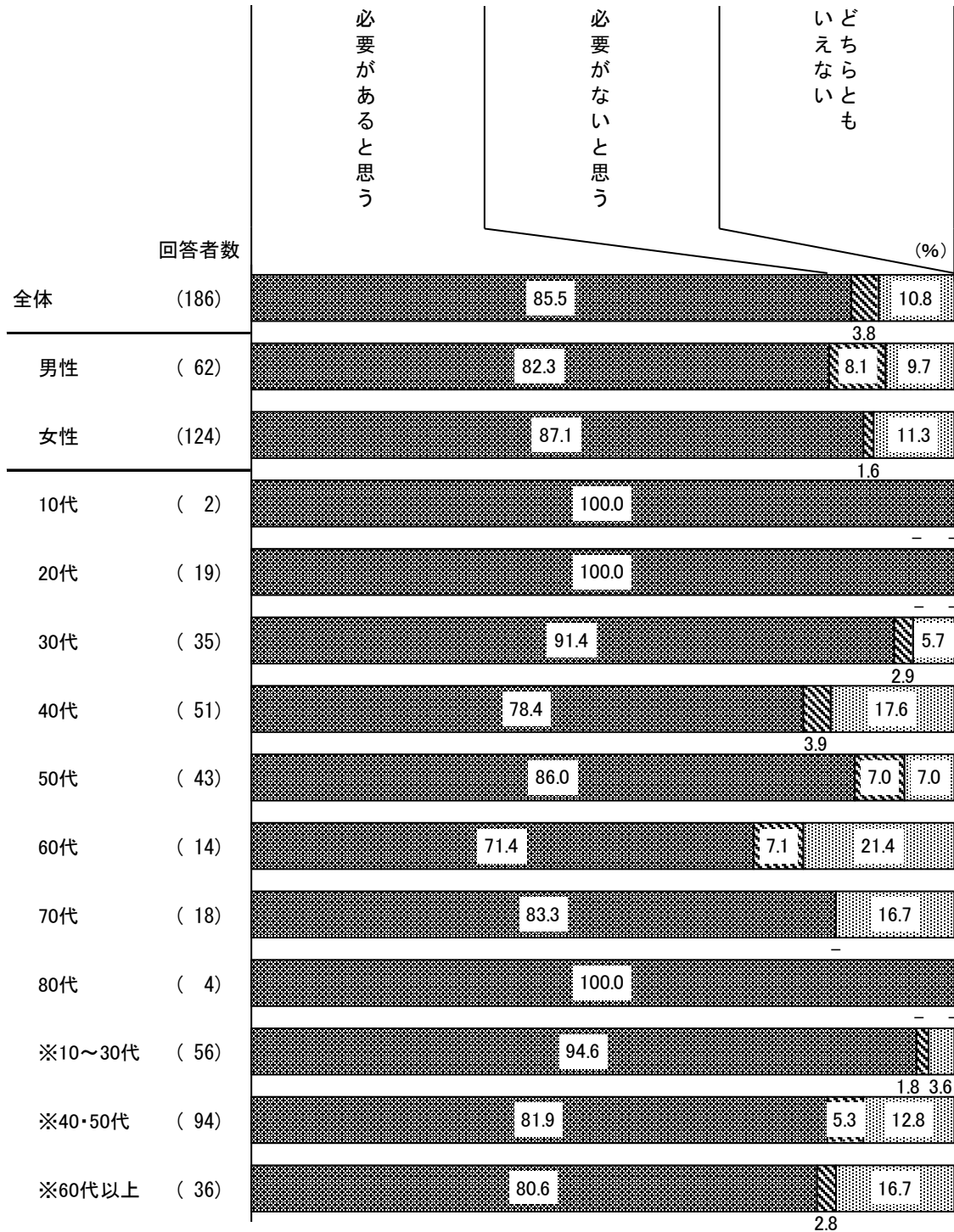
問1 あなたは、地域で子どもを見守る活動は必要だと思いますか（○は1つだけ）。



地域での子ども見守り活動の必要性は、「必要があると思う」が85.5%で、「必要がないと思う」は3.8%となっています。



(2) クロス集計／性別・年代別・年代層別

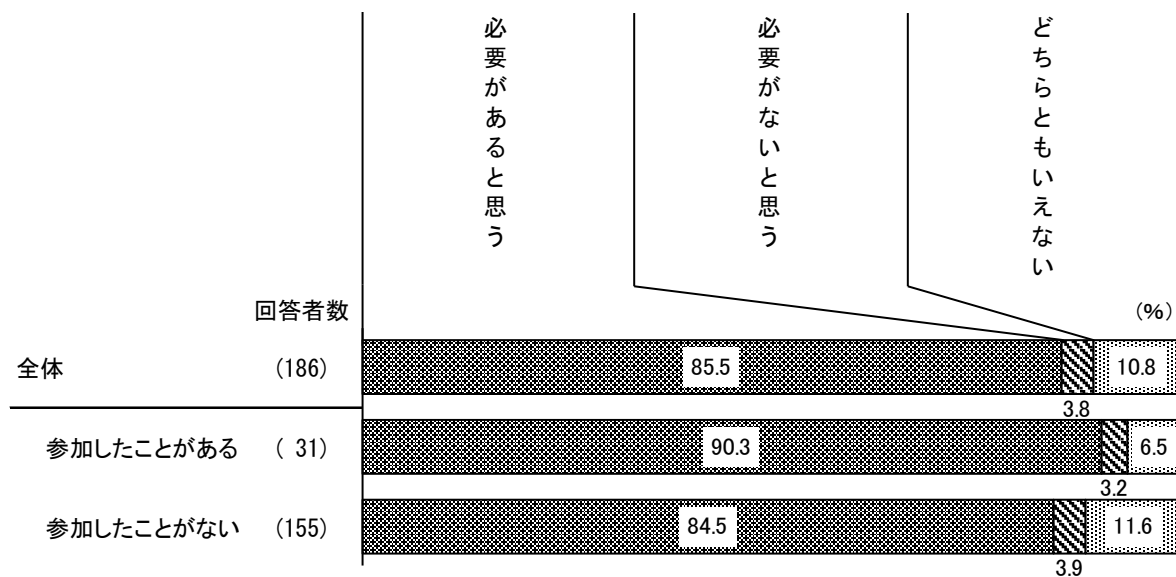


※10 歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

地域での子ども見守り活動の必要性を性別にみると、「必要があると思う」は女性(87.1%)の方が男性(82.3%)より4.8ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「必要があると思う」は“※10～30代”が94.6%で、“※40・50代”(81.9%)、“※60代以上”(80.6%)に比べて10ポイント以上高くなっています。

(3) クロス集計／子ども見守り活動経験別

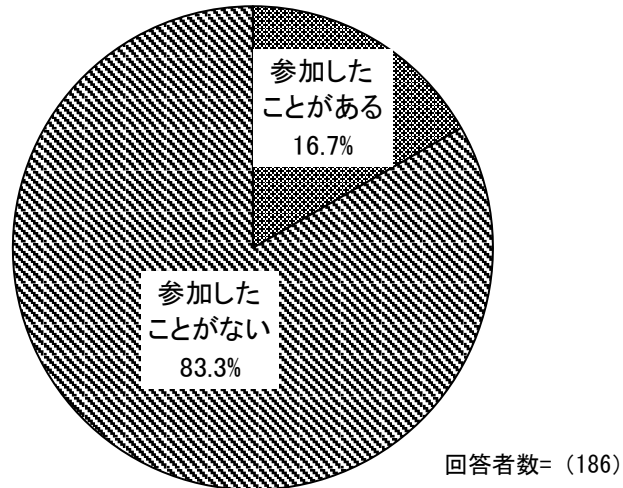


地域での子ども見守り活動の必要性を地域での子ども見守り活動への参加経験別にみると、「必要があると思う」は参加したことがある人（90.3%）の方が参加したことがない人（84.5%）より5.8ポイント高くなっています。

## 2 地域での子ども見守り活動への参加経験

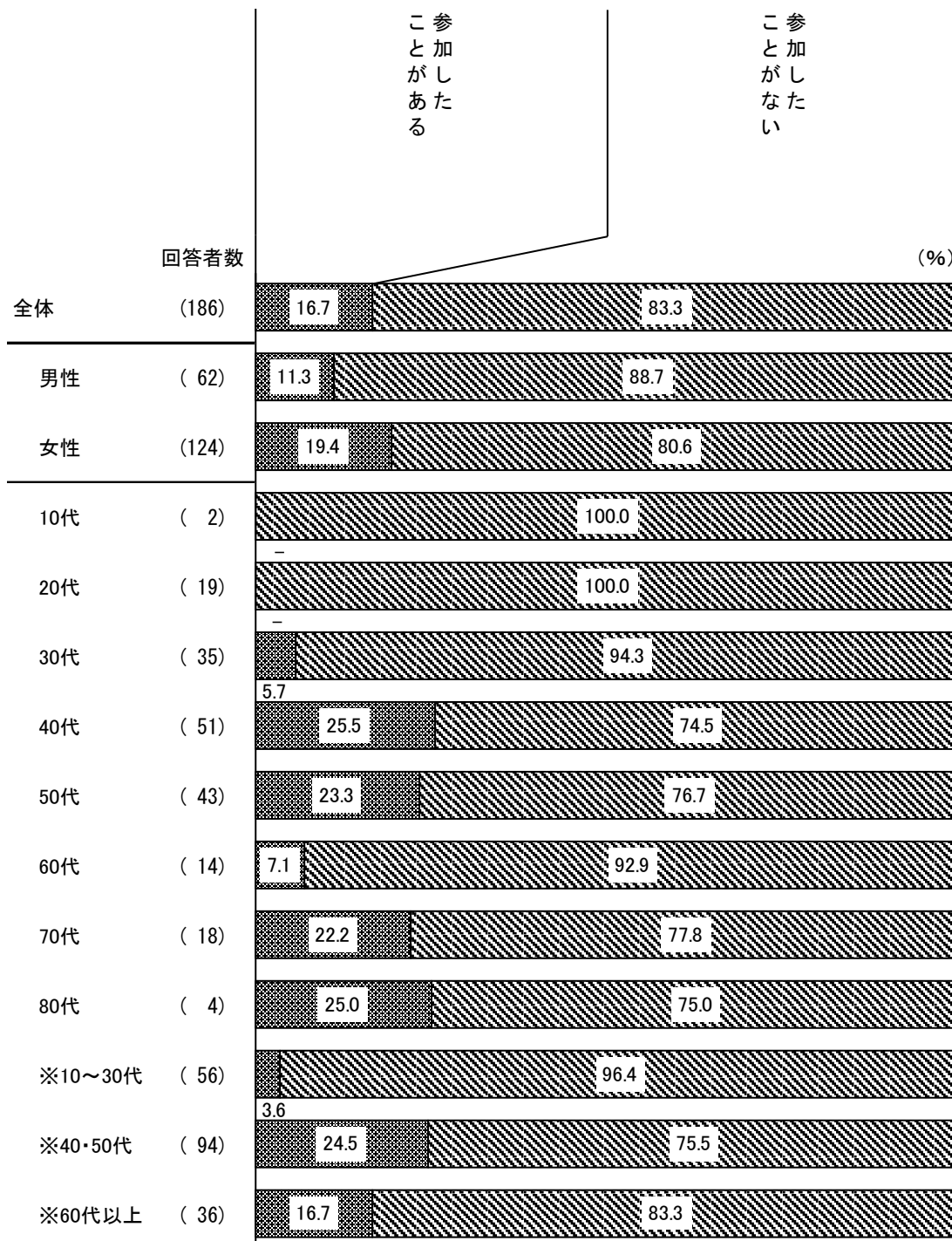
### (1) 単純集計

問2 あなたは、児童の見守り活動に参加したことがありますか（○は1つだけ）。



地域での子ども見守り活動への参加経験は、「参加したことがある」が16.7%で、「参加したことがない」は83.3%となっています。

(2) クロス集計／性別・年代別・年代層別



※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

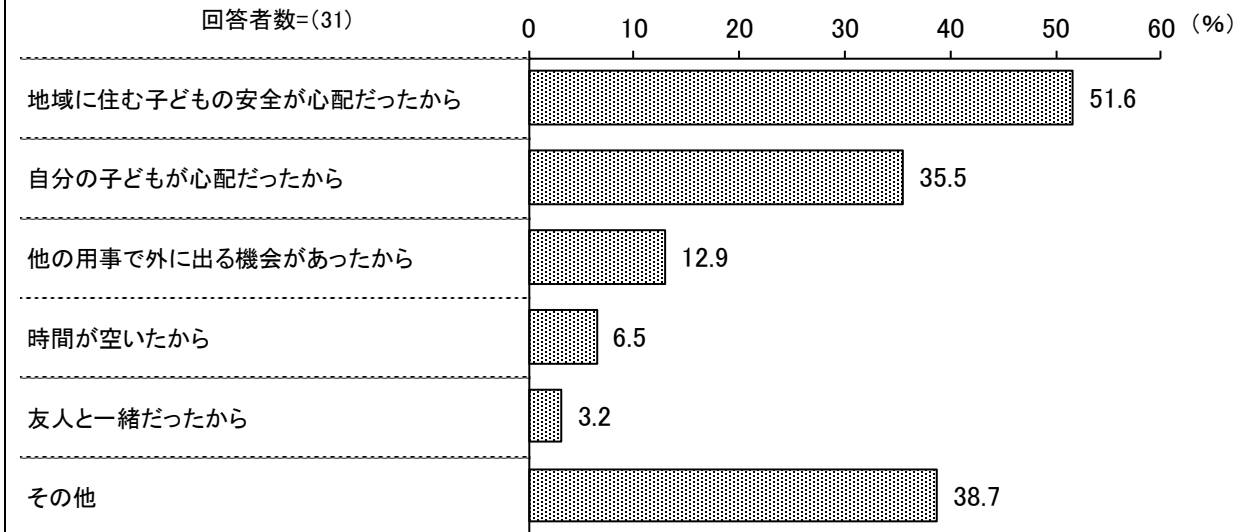
地域での子ども見守り活動への参加経験を性別にみると、「参加したことがある」は女性(19.4%)の方が男性(11.3%)より8.1ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「参加したことがある」は“※40・50代”が24.5%で最も高く、次いで“※60代以上”(16.7%)、“※10～30代”(3.6%)の順となっています。

### 3 見守り活動へ参加した理由

#### (1) 単純集計

(問2で「1 参加したことがある」とお答えの方に)  
 問2-1 あなたが児童の見守り活動に参加した理由はなんですか  
 (〇はあてはまるものすべて)。

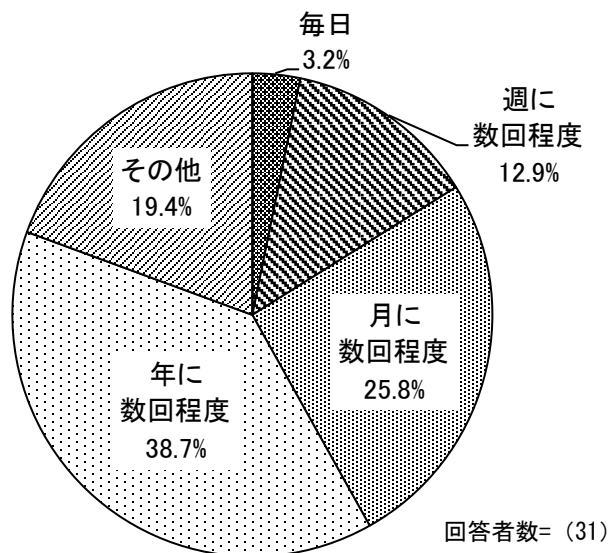


地域での子ども見守り活動へ“参加したことがある”とお答えの方に、見守り活動へ参加した理由を聞いたところ、サンプル数が少ないことからあくまで参考値ながら、「地域に住む子どもの安全が心配だったから」が 51.6%で最も高く、次いで「その他」(38.7%)、「自分の子どもが心配だったから」(35.5%)、「他の用事で外に出る機会があったから」(12.9%) などとなっています。

## 4 見守り活動への参加頻度

### (1) 単純集計

(問2で「1 参加したことがある」とお答えの方に)  
 問2-2 あなたは、どのくらいの頻度で児童の見守り活動に参加していますか  
 (〇は1つだけ)。



地域での子ども見守り活動へ“参加したことがある”とお答えの方に、見守り活動への参加頻度を聞いたところ、サンプル数が少ないことからあくまで参考値ながら、「年に数回程度」が38.7%で最も高く、次いで「月に数回程度」(25.8%)、「その他」(19.4%)、「週に数回程度」(12.9%) などとなっています。

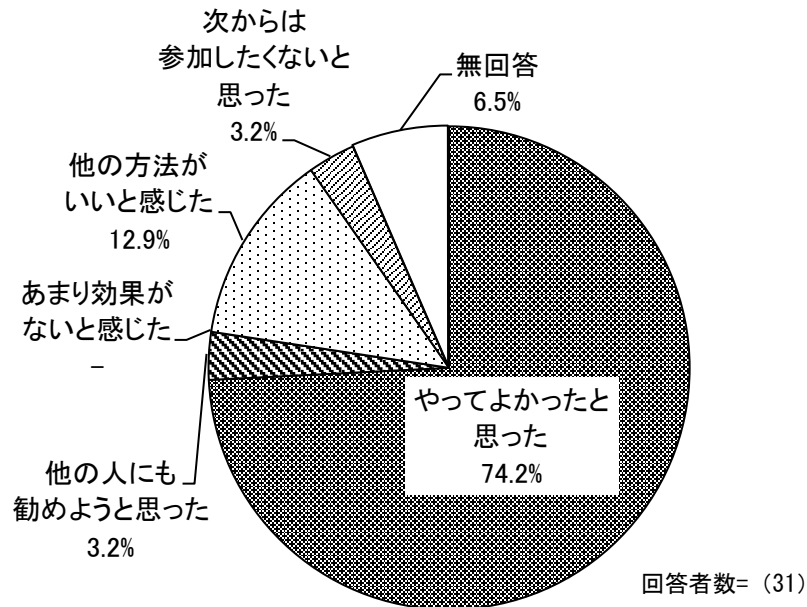
## 5 見守り活動への参加した感想

### (1) 単純集計

(問2で「1 参加したことがある」とお答えの方に)

問2-3 あなたは児童の見守り活動に参加してみて、どのように思いましたか

(○は最もあてはまるものを1つだけ)。

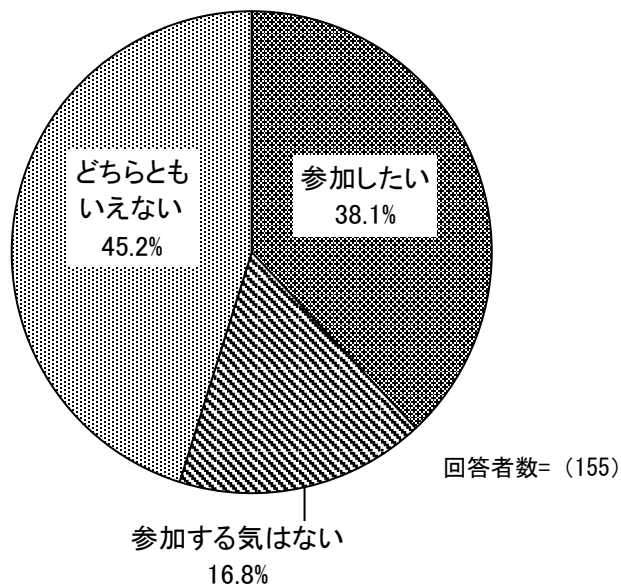


地域での子ども見守り活動へ“参加したことがある”とお答えの方に、見守り活動へ参加した感想を聞いたところ、「やったよかったと思った」が74.2%で最も高く、次いで「他の方法がいいと感じた」(12.9%)、「他の人にも勧めようと思った」(3.2%)、「次からは参加したくないと思った」(3.2%) などとなっています。

## 6 見守り活動への参加意向

### (1) 単純集計

(問2で「2 参加したことがない」とお答えの方に)  
問2-4 あなたは、児童の見守り活動に参加してみたいと思いますか  
(○は1つだけ)。



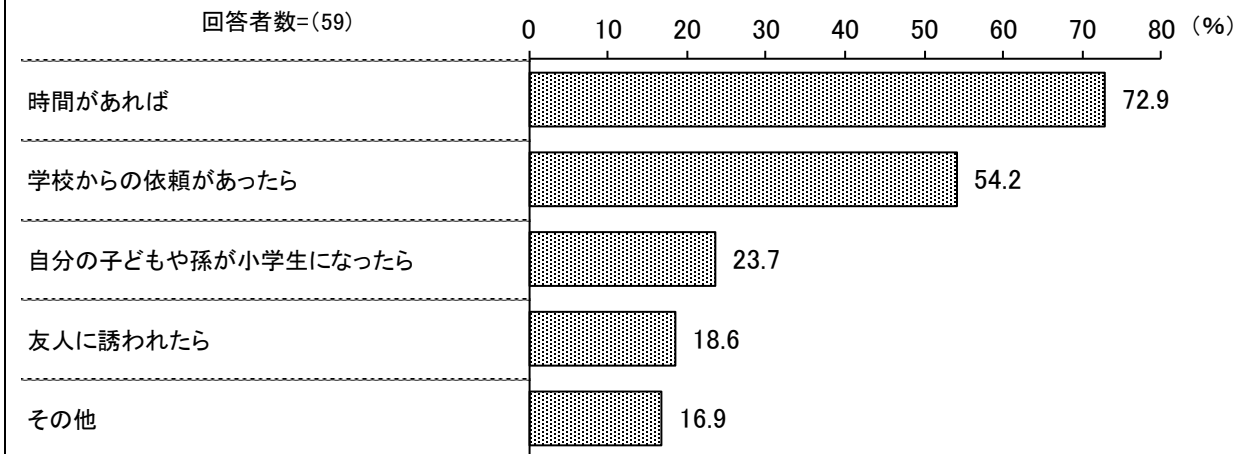
地域での子ども見守り活動へ“参加したことがない”とお答えの方に、見守り活動への参加意向を聞いたところ、「どちらともいえない」が45.2%で最も高く、次いで「参加したい」(38.1%)、「参加する気はない」(16.8%)となっています。



## 7 見守り活動に参加するためのきっかけ

### (1) 単純集計

(問2-4で「1 参加したい」とお答えの方に)  
問2-4-1 あなたは、どのようなきっかけがあれば児童の見守り活動に参加しようと思えますか(〇はあてはまるものすべて)。

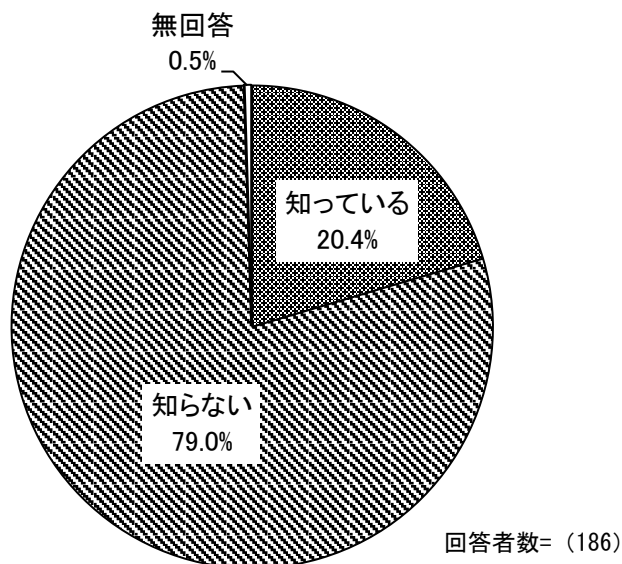


見守り活動への参加意向で“参加したい”とお答えの方に、見守り活動への参加したくなるきっかけを聞いたところ、「時間があれば」が72.9%で最も高く、次いで「学校からの依頼があったら」(54.2%)、「自分の子どもや孫が小学生になったら」(23.7%)、「友人に誘われたら」(18.6%) などとなっています。

## 8 「ながら見守り」登録制度の認知度

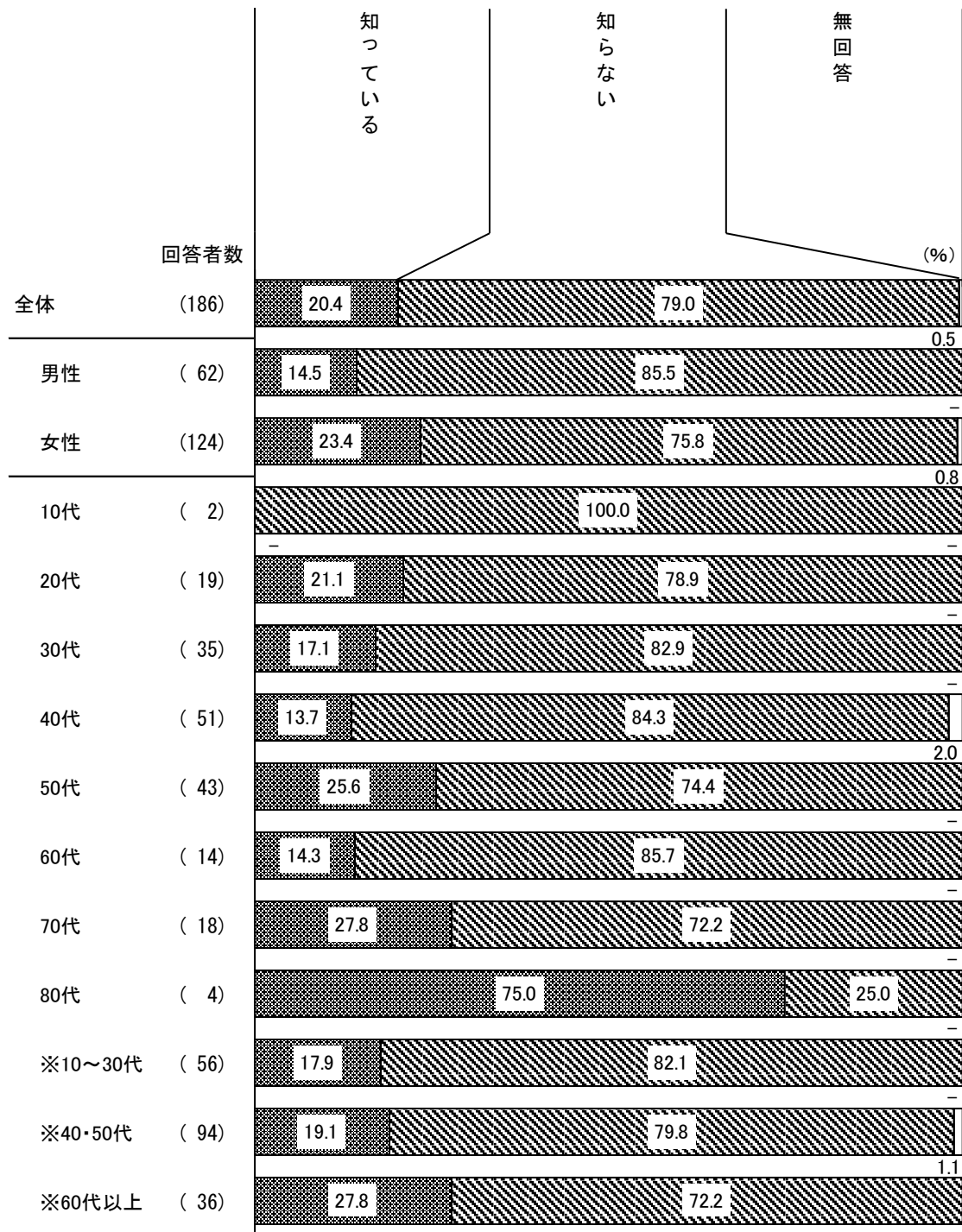
### (1) 単純集計

問3 あなたは、足立区が行っている「ながら見守り」登録制度を知っていますか  
(○は1つだけ)。



「ながら見守り」登録制度の認知度は、「知っている」が20.4%で、「知らない」は79.0%となっています。

(2) クロス集計／性別・年代別・年代層別



※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

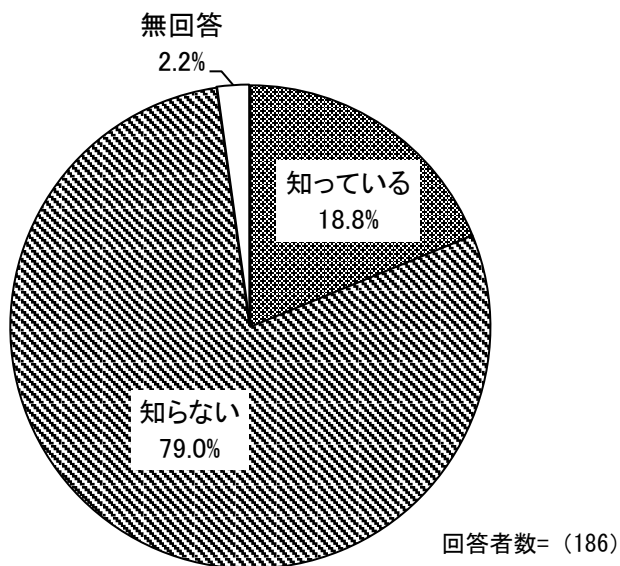
「ながら見守り」登録制度の認知度を性別にみると、「知っている」は女性（23.4%）の方が男性（14.5%）より8.9ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「知っている」は“※60代以上”が27.8%で最も高く、次いで“※40・50代”（19.1%）、“※10~30代”（17.9%）の順となっています。

## 9 「ながら見守り」活動内容の認知度

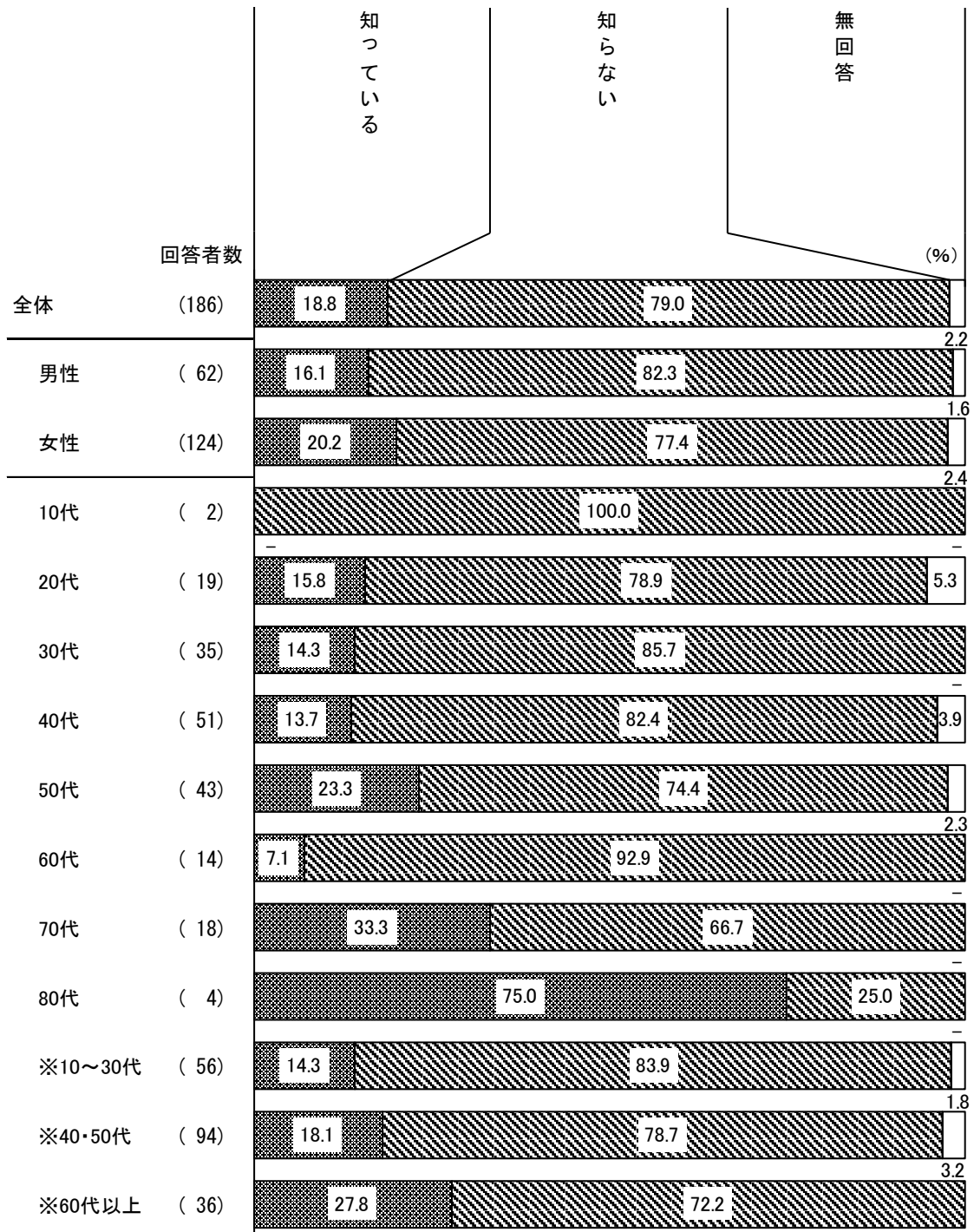
### (1) 単純集計

問4 あなたは、足立区が行っている「ながら見守り」の活動内容を知っていますか  
(○は1つだけ)。



「ながら見守り」活動内容の認知度は、「知っている」が18.8%で、「知らない」は79.0%となっています。

(2) クロス集計／性別・年代別・年代層別



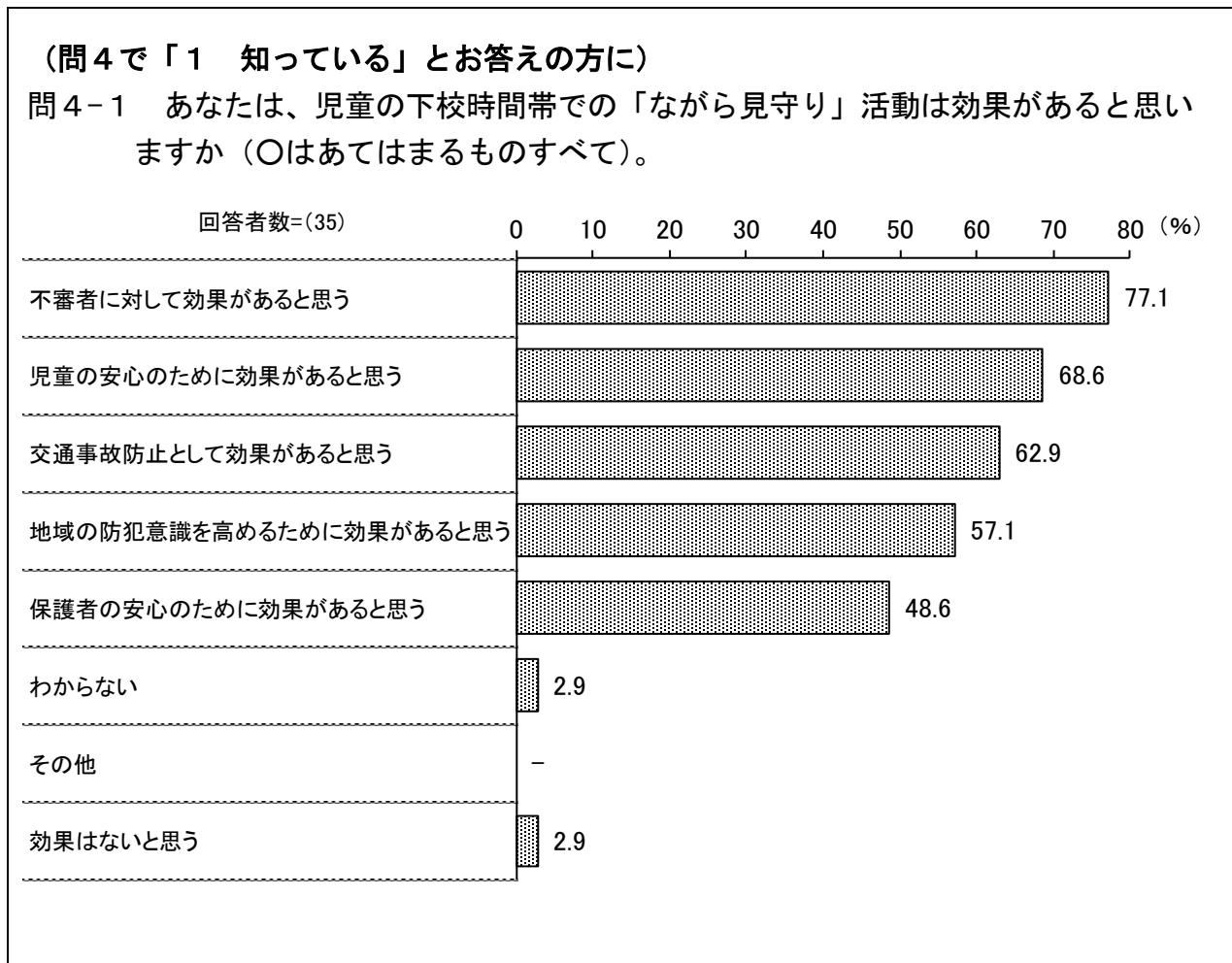
※10 歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

「ながら見守り」活動内容の認知度を性別にみると、「知っている」は女性（20.2%）の方が男性（16.1%）より4.1ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「知っている」は“※60代以上”が27.8%で最も高く、次いで“※40・50代”（18.1%）、“※10~30代”（14.3%）の順となっています。

## 10 「ながら見守り」活動の効果

### (1) 単純集計



「ながら見守り」の活動内容を「知っている」とお答えの方に、「ながら見守り」活動の効果について聞いたところ、サンプル数が少ないことからあくまで参考値ながら、「不審者に対して効果があると思う」が77.1%で最も高く、次いで「児童の安心のために効果があると思う」(68.6%)、「交通事故防止として効果があると思う」(62.9%)、「地域の防犯意識を高めるために効果があると思う」(57.1%) などとなっています。

## 11 「ながら見守り」活動の効果がないと思う理由

### (1) 単純集計

(問4-1で「8 効果はないと思う」とお答えの方に)

問4-2 なぜ効果がないと思いますか(ご自由にお書きください)。

※1名より1件の回答

【効果がないと思う理由(内容別件数)】

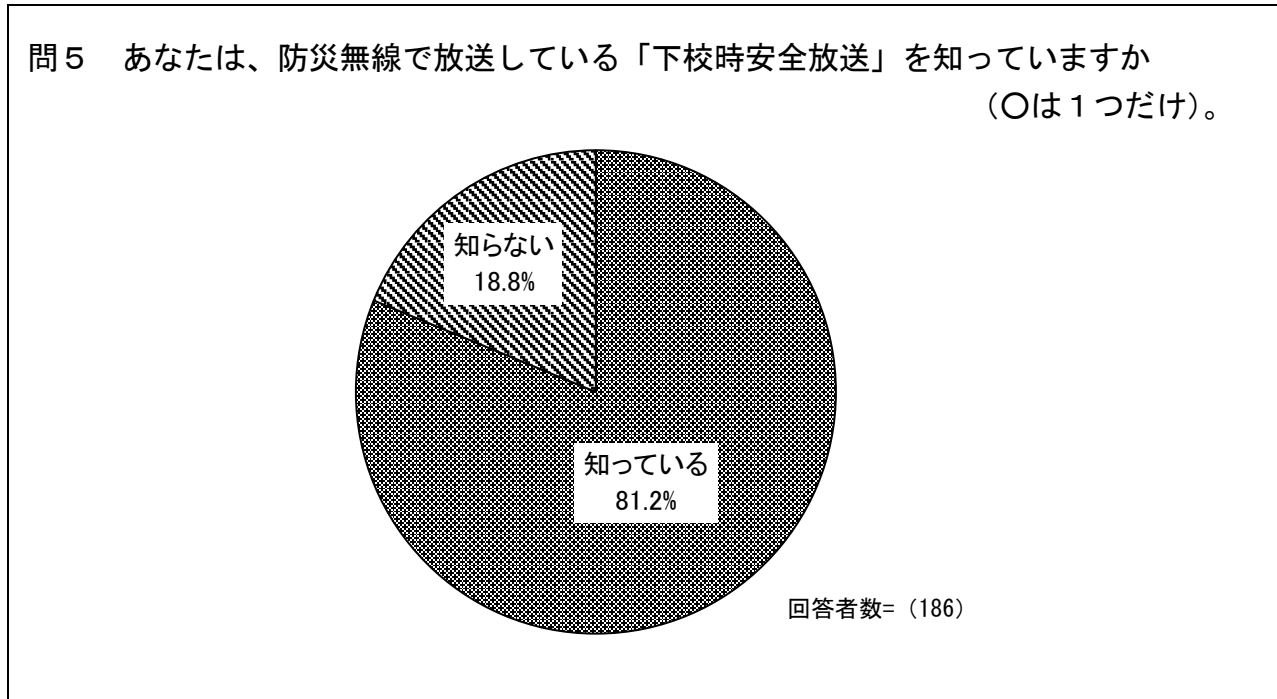
実際に機能している場面を見ない	1件
-----------------	----

「ながら見守り」活動の効果がないと思う理由について自由記述で聞いたところ、1人から1件のご意見をいただきました。

ご意見の内容は、「実際に機能している場面を見ない」となっています。

## 12 「下校時安全放送」の認知度

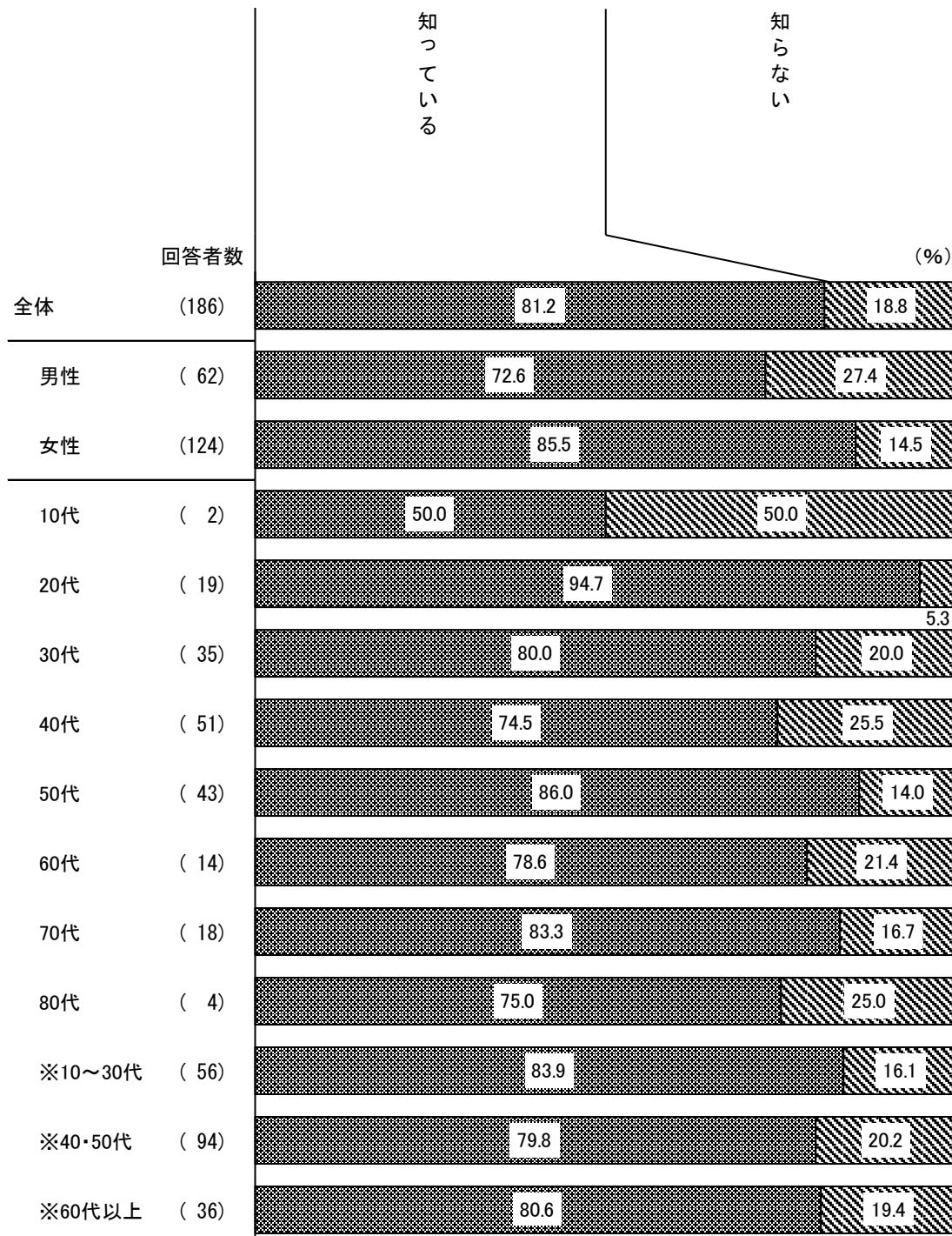
### (1) 単純集計



「下校時安全放送」の認知度は、「知っている」が81.2%で、「知らない」は18.8%となっています。



(2) クロス集計／性別・年代別・年代層別



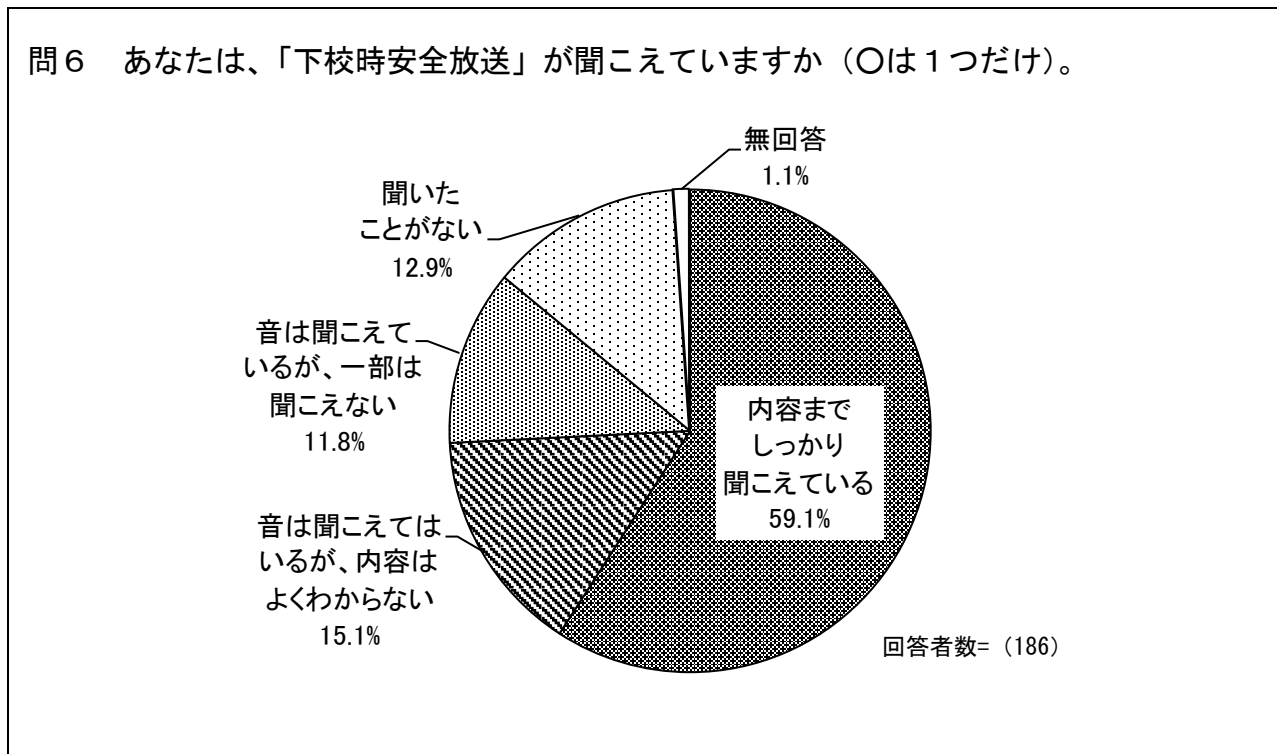
※10 歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

「下校時安全放送」の認知度を性別にみると、「知っている」は女性（85.5%）の方が男性（72.6%）より12.9ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「知っている」は“※10～30代”が83.9%で最も高く、次いで“※60代以上”（80.6%）、“※40・50代”（79.8%）の順となっています。

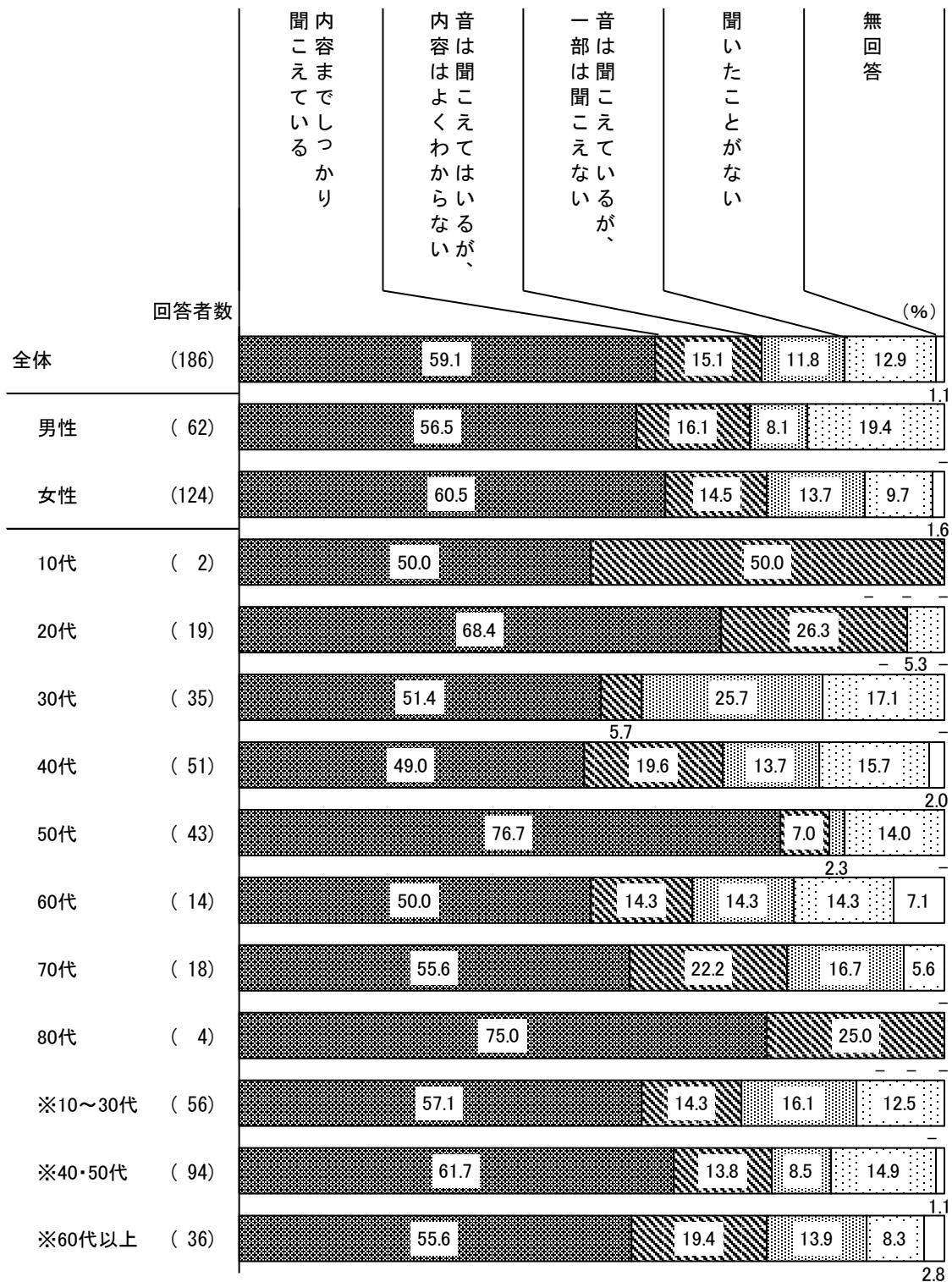
### 13 「下校時安全放送」の聞こえ方

(1) 単純集計



「下校時安全放送」の聞こえ方は、「内容までしっかり聞こえている」が 59.1%で最も高く、次いで「音は聞こえてはいるが、内容はよくわからない」(15.1%)、「聞いたことがない」(12.9%)、「音は聞こえているが、一部は聞こえない」(11.8%) となっています。

(2) クロス集計／性別・年代別・年代層別



※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

「下校時安全放送」の聞こえ方を性別にみると、「聞いたことがない」は男性（19.4%）の方が女性（9.7%）より9.7ポイント高くなっています。

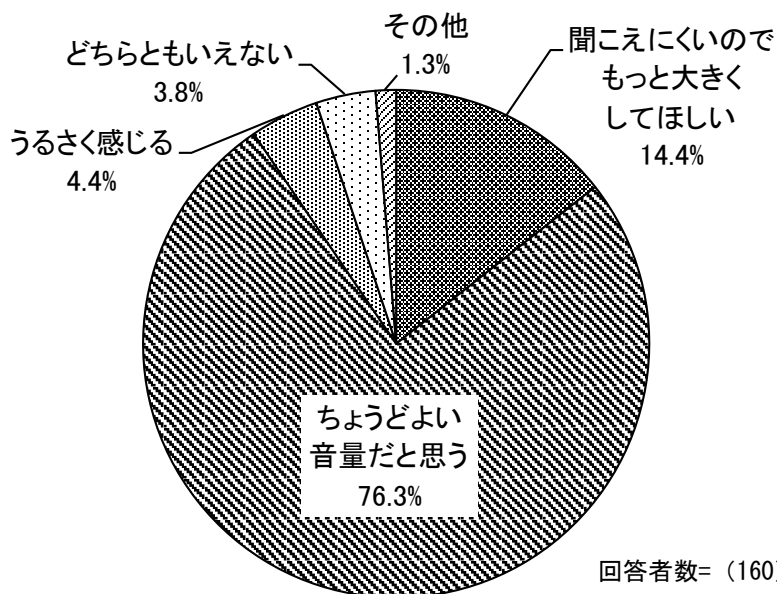
年代層別にみると、「内容までしっかり聞こえている」は“※40・50代”が61.7%で最も高く、次いで“※10~30代”（57.1%）、“※60代以上”（55.6%）の順となっています。

## 14 「下校時安全放送」の音量

### (1) 単純集計

(問6で「1 内容までしっかり聞こえている」、「2 音は聞こえているが、内容はよくわからない」または「3 音は聞こえているが、一部は聞こえない」とお答えの方に)

問6-1 あなたは、「下校時安全放送」の音量についてどう感じますか(○は1つだけ)。



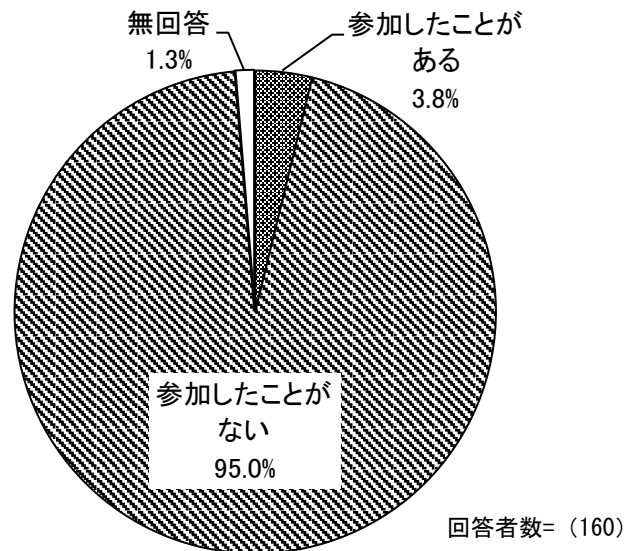
「下校時安全放送」の聞こえ方で“内容までしっかり聞こえている”、“音は聞こえているが、内容はよくわからない”、“音は聞こえているが、一部は聞こえない”とお答えの方に、「下校時安全放送」の音量について聞いたところ、「ちょうどよい音量だと思う」が76.3%で最も高く、次いで「聞こえにくいのでもっと大きくしてほしい」(14.4%)、「うるさく感じる」(4.4%)、「どちらともいえない」(3.8%) などとなっています。

## 15 「下校時安全放送」を聞いての見守り活動への参加経験

## (1) 単純集計

(問6で「1 内容までしっかり聞こえている」、「2 音は聞こえているが、内容はよくわからない」または「3 音は聞こえているが、一部は聞こえない」とお答えの方に)

問6-2 あなたは、「下校時安全放送」を聞いて児童の下校時間帯に見守り活動に参加したことがありますか(○は1つだけ)。

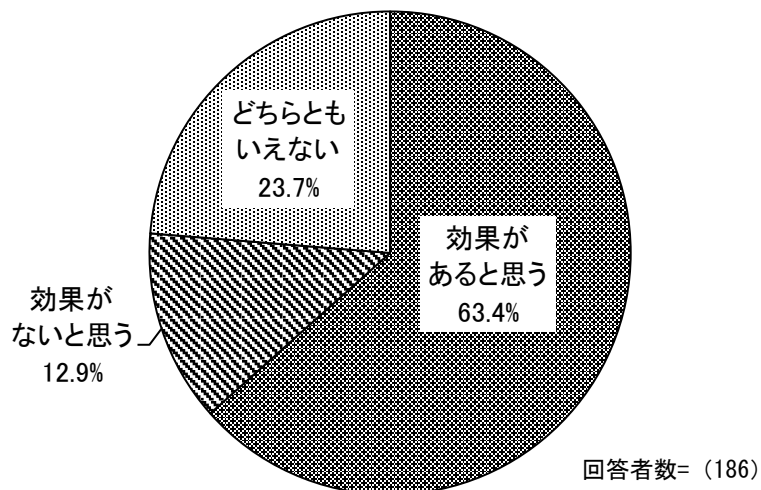


「下校時安全放送」の聞こえ方で“内容までしっかり聞こえている”、“音は聞こえているが、内容はよくわからない”、“音は聞こえているが、一部は聞こえない”とお答えの方に、「下校時安全放送」を聞いての見守り活動への参加経験について聞いたところ、「参加したことがある」が3.8%、「参加したことがない」は95.0%となっています。

## 16 「下校時安全放送」の見守り活動への啓発効果の有無

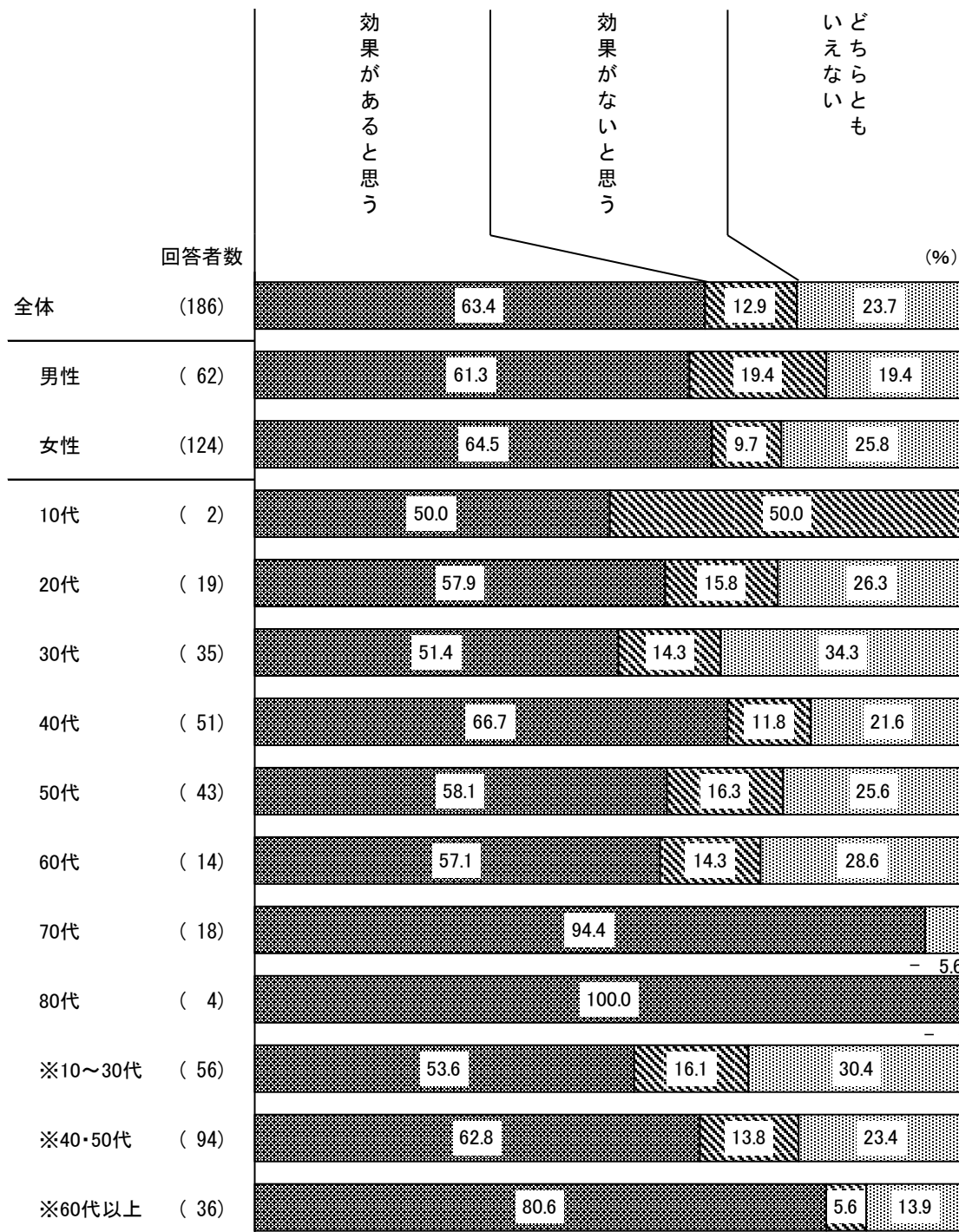
### (1) 単純集計

問7 あなたは、「下校時安全放送」を放送することによって、区民の見守り意識の啓発の手段として、効果があると思いますか（○は1つだけ）。



「下校時安全放送」の見守り活動への啓発効果の有無は、「効果があると思う」が 63.4%で、「効果がないと思う」は 12.9%となっています。

(2) クロス集計／性別・年代別・年代層別

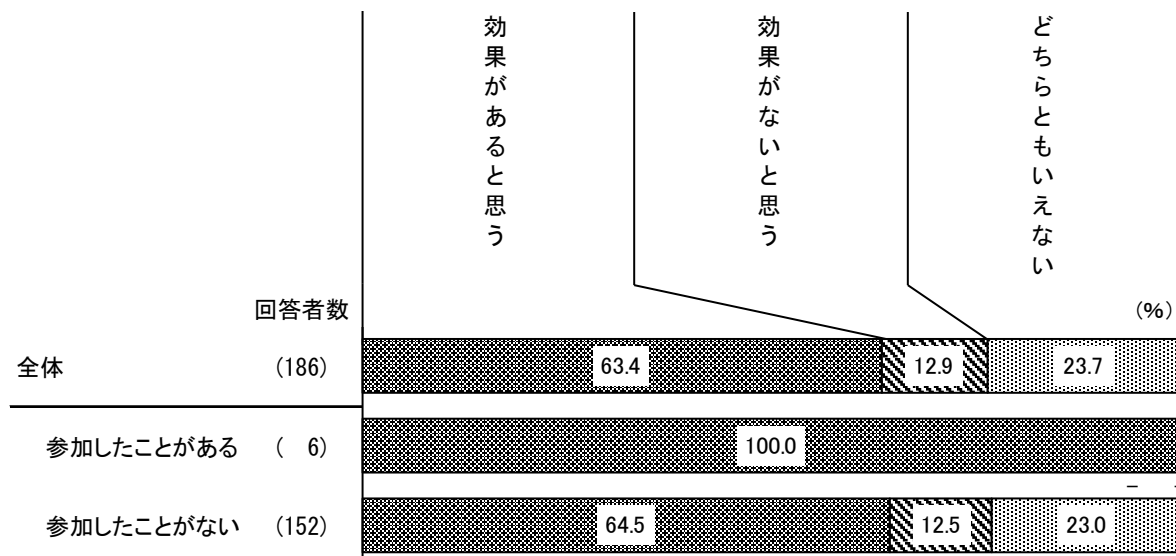


※10 歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

「下校時安全放送」の見守り活動への啓発効果の有無を性別にみると、「効果があると思う」は女性（64.5%）の方が男性（61.3%）より3.2ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「効果があると思う」は「※60代以上」が80.6%で、「※10～30代」（53.6%）、「※40・50代」（62.8%）に比べて20ポイント近く高くなっています。

(3) クロス集計／「下校時安全放送」を聞いての見守り活動参加経験別



「下校時安全放送」の見守り活動への啓発効果の有無を「下校時安全放送」を聞いての見守り活動への参加経験別にみると、参加したことがない人は「効果があると思う」が64.5%、「効果がないと思う」が12.5%となっており、参加経験がない人も「下校時安全放送」の見守り活動への啓発効果はあると思っている人が多くなっている。

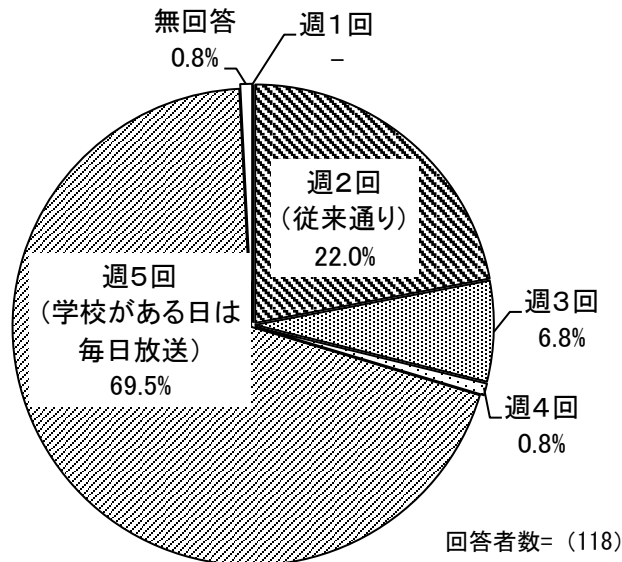


## 17 「下校時安全放送」の効果的な回数

### (1) 単純集計

(問7で「1 効果があると思う」とお答えの方に)

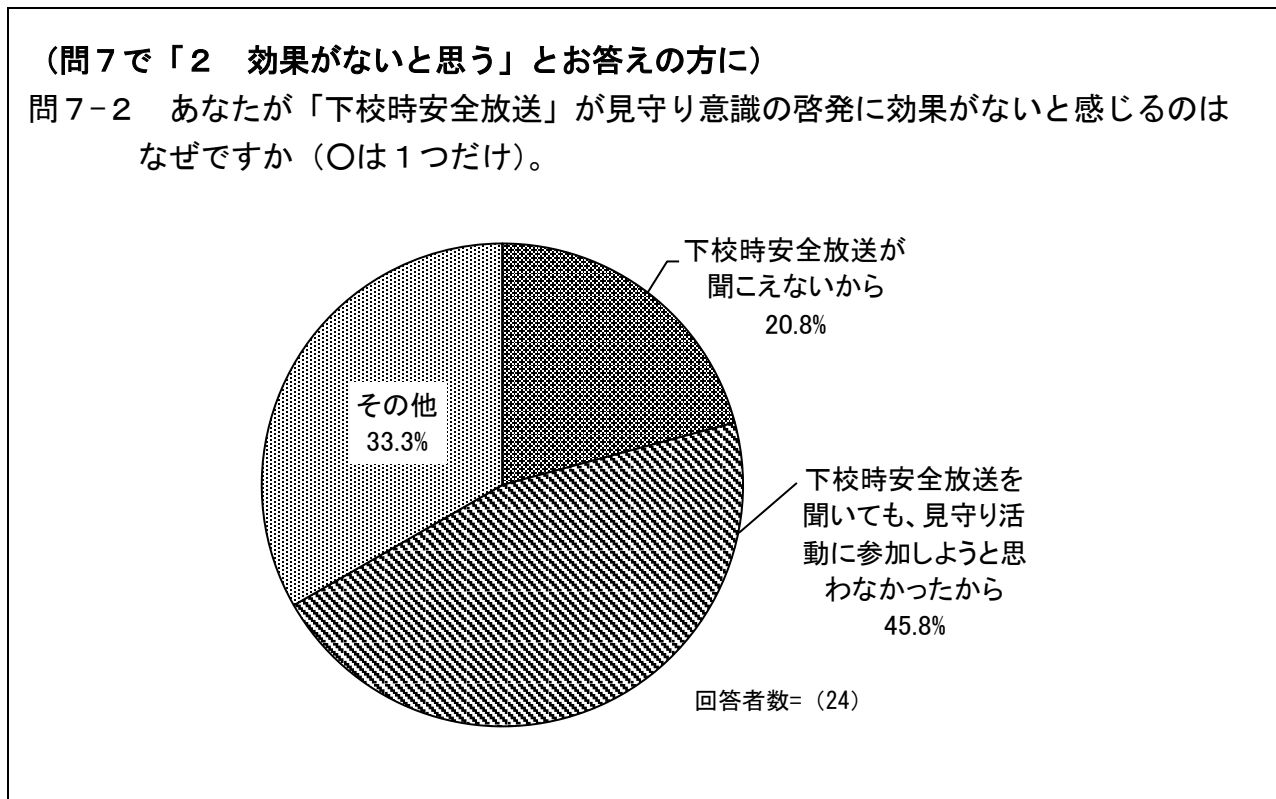
問7-1 あなたは、「下校時安全放送」の放送回数について、週何回の放送にしたら、最も効果があると感じますか (○は1つだけ)。



「下校時安全放送」が見守り活動への啓発に“効果がある”とお答えの方に、「下校時安全放送」の効果的な回数について聞いたところ、「週5回(学校がある日は毎日放送)」が69.5%で最も高く、次いで「週2回(従来通り)」(22.0%)、「週3回」(6.8%)、「週4回」(0.8%)となっています。

## 18 「下校時安全放送」が見守り活動への啓発効果が無いと思う理由

### (1) 単純集計

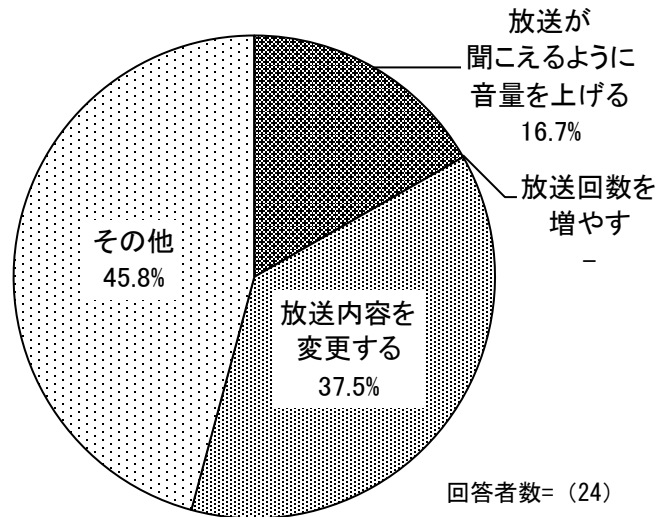


「下校時安全放送」が見守り活動への啓発に“効果がない”とお答えの方に、「下校時安全放送」が見守り活動への啓発効果が無いと思う理由について聞いたところ、サンプル数が少ないことからあくまで参考値ながら、「下校時安全放送を聞いても、見守り活動に参加しようと思わなかったから」が45.8%で最も高く、次いで「その他」(33.3%)、「下校時安全放送が聞こえないから」(20.8%)となっています。

## 19 「下校時安全放送」に効果が出ると思う方法

## (1) 単純集計

(問7で「2 効果がないと思う」とお答えの方に)  
問7-3 あなたはどのような方法であれば、「下校時安全放送」に効果が出ると思いますか(○は1つだけ)。

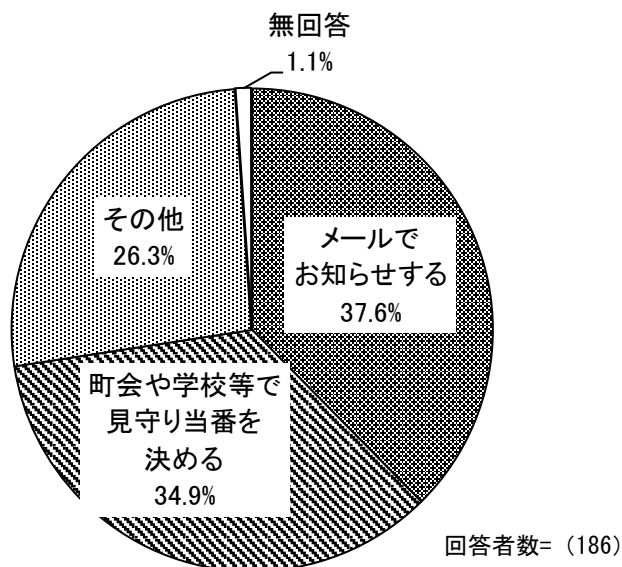


「下校時安全放送」が見守り活動への啓発に“効果がない”とお答えの方に、「下校時安全放送」に効果が出ると思う方法について聞いたところ、「その他」が45.8%で最も高く、次いで「放送内容を変更する」(37.5%)、「放送が聞こえるように音量を上げる」(16.7%)などとなっています。

## 20 「下校時安全放送」の他に下校時に合わせて見守り活動ができると思う手段

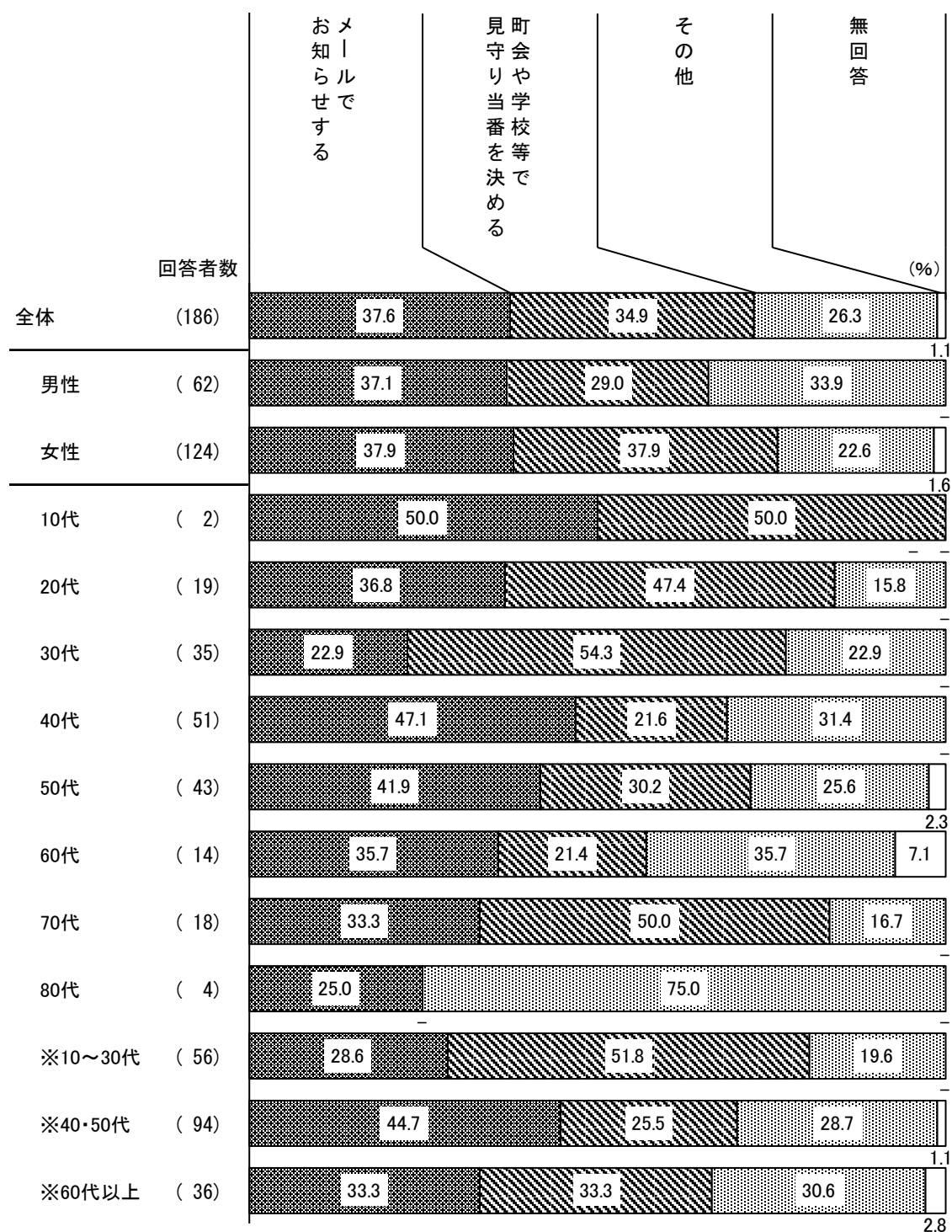
### (1) 単純集計

問8 あなたは、防災無線を活用した「下校時安全放送」の他に、どのような手段なら、児童の下校時に合わせて見守りができると思いますか（○は1つだけ）。



「下校時安全放送」の他に下校時に合わせて見守り活動ができると思う手段は、「メールでお知らせする」が37.6%で最も高く、次いで「町会や学校等で見守り当番を決める」(34.9%)、「その他」(26.3%)となっています。

## (2) クロス集計／性別・年代別・年代層別



※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

「下校時安全放送」の他に下校時に合わせて見守り活動ができると思う手段を性別にみると、「メールでお知らせする」に性別差はありませんが、「町会や学校等で見守り当番を決める」は女性(37.9%)の方が男性(29.0%)より8.9ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「町会や学校等で見守り当番を決める」は“※10～30代”が51.8%で、“※40・50代”(25.5%)、“※60代以上”(33.3%)に比べて10ポイント以上高くなっています。

## 21 地域での見守り活動以外で効果的だと思うこと

### (1) 単純集計

問9 児童が安全に下校するための方法として、地域での子どもの見守り活動の他にどのようなことが効果的だと思いますか（ご自由にお書きください）。

※124名より延べ147件の回答

【他の地域の子どもの見守り活動の手段（内容別件数）】

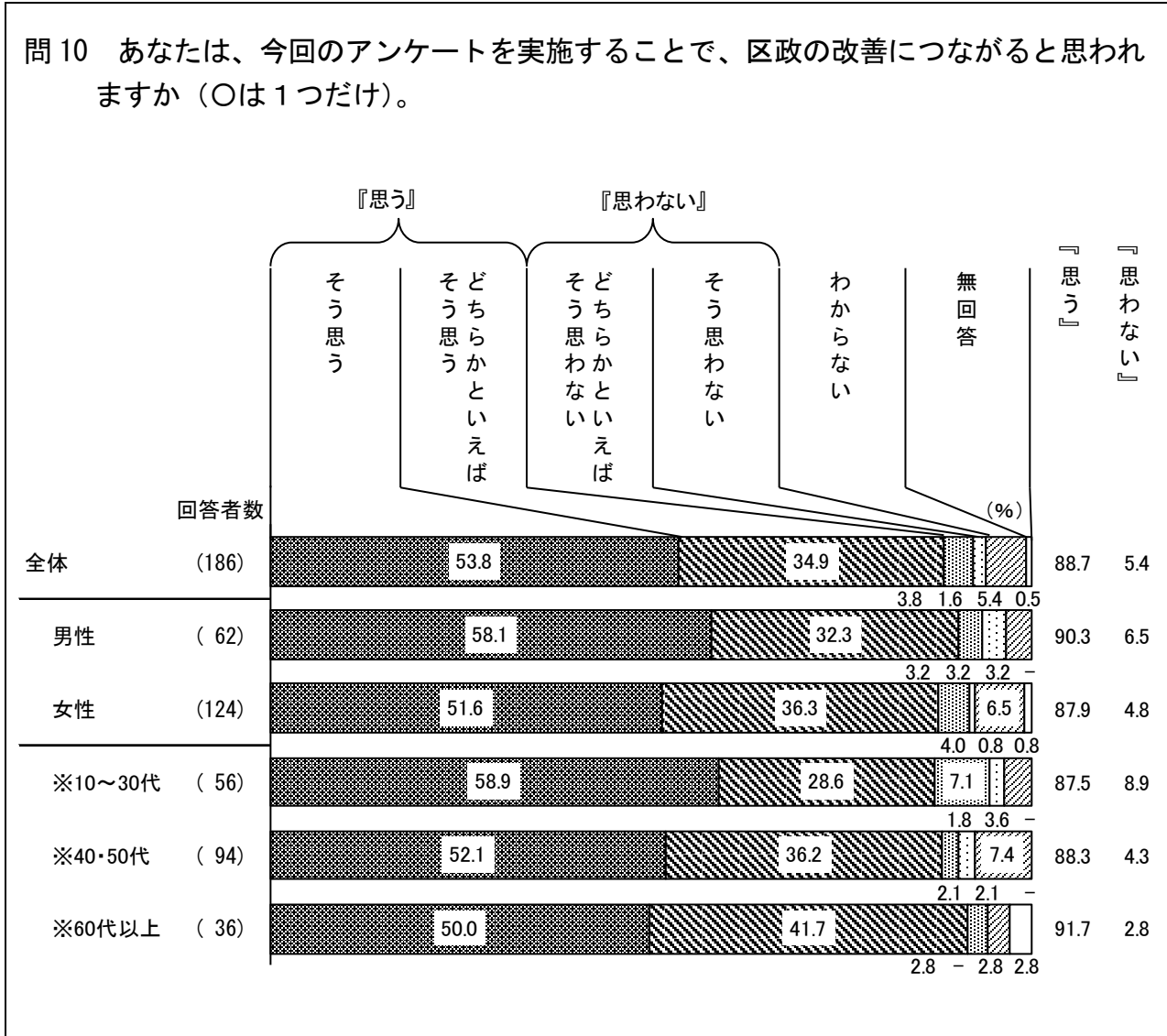
地域活動・協力について	37件
治安システムについて	26件
集団下校・防犯ブザー等の所持など	21件
パトロールに関すること	13件
道路・車など交通に関すること	12件
子どもへの教育・意識づけについて	9件
その他	29件

地域での見守り活動以外で効果的だと思うことについて自由記述で聞いたところ、124名から延べ147件のご意見をいただきました。

ご意見を内容別に分類したところ、「地域活動・協力について」が37件で最も多く、次いで「治安システムについて」（26件）、「集団下校・防犯ブザー等の所持など」（21件）、「パトロールに関すること」（13件）、「道路・車など交通に関すること」（12件）などとなっています。

## 22 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え

### (1) クロス集計／性別・年代層別



今回のアンケートを実施することで区政の改善につながると思うかについて聞いたところ、「そう思う」が53.8%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」(34.9%)と合わせた《そう思う(計)》は88.7%となっています。

性別にみると、《そう思う(計)》は男性(90.3%)の方が女性(87.9%)より2.4ポイント高くなっています。

年代層別にみると、《そう思う(計)》は“※60代以上”が91.7%で最も高く、次いで“※40・50代”(88.3%)、“※10~30代”(87.5%)の順となっています。





## 第4章 調査票



モニター番号 \_\_\_\_\_ 番

(必ず記入してください)

## 令和5年度 第1回 足立区政に関する世論調査（小規模調査） 《児童が安全に下校するための見守りについて》

### ご協力のお願い

皆さまには日頃から区政にご支援ご協力いただき、心より御礼申し上げます。

この調査は、児童の地域での見守りの必要性及び児童下校時の安全放送の有効性について、子育て世帯（小学生）以外の区民も含め、児童の下校時の安全確保事業の推進を図ることを目的に行うものです。

子どもに対する不審者情報が後を絶たない中、地域の方々にはより一層見守りに参加していただきたいと願う一方で、防災無線を使用することで広く子どもたちの下校時刻がわかってしまうことや、乳幼児や夜勤の方には睡眠を害される等のご意見もいただいていることから、今般より多くの皆さまのご意見を伺いたく実施いたします。

回答にかかる時間は約10分です。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年7月

足立区長 近藤やよい

### □□ ご回答にあたって □□

- 質問によっては、○印は（1つだけ）や（あてはまるものすべて）というように数を指定しておりますので、（ ）内のことわり書きをよくお読みください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。

ご回答期限：令和5年7月31日



足立区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



これからお聞きすることは、お答えいただく内容を統計的に分類するための質問です

F 1 あなたは、足立区に住んで何年になりますか (〇は1つだけ)。(回答者数=186)

1	1年未満	-	3	3~5年未満	9.7	5	10~20年未満	17.2
2	1~3年未満	4.3%	4	5~10年未満	14.5	6	20年以上	54.3

F 2 あなたのお住まい(住居)は、次のどれにあたりますか (〇は1つだけ)。

(回答者数=186)

1	一戸建て持家	33.9%	6	社宅・公務員住宅	0.5
2	一戸建て借家	1.1	7	間借り・住み込み	-
3	分譲マンション	29.6	8	その他( )	0.5
4	賃貸マンション・アパート	25.8			
5	都市再生機構(旧公団)・公社・ 都営住宅・区営住宅	8.6			

F 3 あなたの職業は、次のどれにあたりますか (〇は1つだけ)。(回答者数=186)

1	自営業・会社役員等	10.2%	4	学生	2.7	7	その他( )	1.6
2	会社員・公務員等	29.6	5	主に家事に従事	17.7			
3	パート・アルバイト	23.1	6	無職	15.1			

F 4 現在、あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか (〇はあてはまるものすべて)。

(回答者数=186)

1	ひとり暮らし	16.1%	4	祖父・祖母	1.1	7	その他( )	3.8
2	配偶者	64.0	5	自分の子ども	44.1			
3	父・母	15.6	6	兄弟・姉妹	5.9			

(F 4で「5 自分の子ども」とお答えの方に)

F 4-1 末子のお子さんの年代は、次のどれにあたりますか (〇は1つだけ)。

(回答者数=82)

1	小学校入学前(2.8歳)	43.9%	3	中学生以上	41.5
2	小学生	12.2%		無回答	2.4

F 5 現在、あなたは町会・自治会に加入していますか (〇はあてはまるものすべて)。

(回答者数=186)

1	町会に加入している	39.2%	3	町会も自治会も加入していない	50.0
2	自治会に加入している	15.1			

地域での子どもの見守りについて、おうかがいします

問1 あなたは、地域で子どもを見守る活動は必要だと思いませんか（〇は1つだけ）。

（回答者数=186）

1 必要があると思う	85.5%	3 どちらともいえない	10.8
2 必要がないと思う	3.8		

問2 あなたは、児童の見守り活動に参加したことがありますか（〇は1つだけ）。

（回答者数=186）

1 参加したことがある	16.7%	2 参加したことがない	83.3
-------------	-------	-------------	------

「1 参加したことがある」と回答された方は問2-1へ、「2 参加したことがない」と回答された方は問2-4へお進みください。

（問2で「1 参加したことがある」とお答えの方に）

問2-1 あなたが児童の見守り活動に参加した理由はなんですか

（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数=31）

1 自分の子どもが心配だったから	35.5%	4 他の用事で外に出る機会が	
2 地域に住む子どもの安全が		あったから	12.9
心配だったから	51.6	5 時間が空いたから	6.5
3 友人と一緒にだったから	3.2	6 その他（ ）	38.7

（問2で「1 参加したことがある」とお答えの方に）

問2-2 あなたは、どのくらいの頻度で児童の見守り活動に参加していますか

（〇は1つだけ）。（回答者数=31）

1 毎日	3.2%	3 月に数回程度	25.8	5 その他（ ）	19.4
2 週に数回程度	12.9	4 年に数回程度	38.7		

（問2で「1 参加したことがある」とお答えの方に）

問2-3 あなたは児童の見守り活動に参加してみて、どのように思いましたか

（〇は最もあてはまるものを1つだけ）。（回答者数=31）

1 やってよかったと思った	74.2%	5 次からは参加したくないと	
2 他の人にも勧めようと思った	3.2	思った	3.2
3 あまり効果がないと感じた	-	無回答	6.5
4 他の方法がいいと感じた	12.9		

→ 問3へお進みください。

(問2で「2 参加したことがない」とお答えの方に)

問2-4 あなたは、児童の見守り活動に参加してみたいと思いますか(○は1つだけ)。(回答者数=155)

1 参加したい	38.1%	3 どちらともいえない	45.2
2 参加する気はない	16.8		

(問2-4で「1 参加したい」とお答えの方に)

問2-4-1 あなたは、どのようなきっかけがあれば児童の見守り活動に参加しようと思いますか(○はあてはまるものすべて)。(回答者数=59)

1 友人に誘われたら	18.6%	4 学校からの依頼があったら	54.2
2 時間があれば	72.9	5 その他( )	16.9
3 自分の子どもや孫が小学生になったら	23.7		

問3 あなたは、足立区が行っている「ながら見守り」登録制度を知っていますか

(○は1つだけ)。(回答者数=186)

※ 「ながら見守り」とは、不審な人物や車両がないかなど、日常生活をし「ながら」まわりに目を向けることで子どもや地域の安全を守ろうとする活動です。活動の参加にあたっては、区への登録が必要になります。

1 知っている	20.4%	2 知らない	79.0	無回答	0.5
---------	-------	--------	------	-----	-----

問4 あなたは、足立区が行っている「ながら見守り」の活動内容を知っていますか

(○は1つだけ)。(回答者数=186)

1 知っている	18.8%	2 知らない	79.0	無回答	2.2
---------	-------	--------	------	-----	-----

(問4で「1 知っている」とお答えの方に)

問4-1 あなたは、児童の下校時間帯での「ながら見守り」活動は効果があると思いますか(○はあてはまるものすべて)。(回答者数=35)

1 不審者に対して効果があると思う	77.1%	6 わからない	2.9
2 交通事故防止として効果があると思う	62.9	7 その他( )	-
3 児童の安心のために効果があると思う	68.6	8 効果はないと思う	2.9
4 保護者の安心のために効果があると思う	48.6		
5 地域の防犯意識を高めるために効果があると思う	57.1		

→ 問4-1へお進みください

(問4-1で「8 効果はないと思う」とお答えの方に)

問4-2 なぜ効果がないと思いますか(ご自由にお書きください)。

## 足立区の下校時安全放送について、おうかがいします

足立区では、平成17年末に全国で相次いで起こった下校時の事件を受けて、PTA・地域の皆様・警察等の方からの強い要望もあり、平成18年から地域で子どもを見守る意識啓発のために、長期休業期間中を除く月曜日と木曜日の週2回、見守りが必要な小学校低学年児童の多くが下校する時間帯に防災無線で、以下の放送を行っています（以下「下校時安全放送」といいます）。

『こちらは足立区教育委員会です。いつも子どもたちの見守りにご協力いただき、ありがとうございます。安全な下校のため、引き続きご協力をお願いします。』

問5 あなたは、防災無線で放送している「下校時安全放送」を知っていますか  
(○は1つだけ)。(回答者数=186)

1 知っている	81.2%	2 知らない	18.8
---------	-------	--------	------

問6 あなたは、「下校時安全放送」が聞こえていますか(○は1つだけ)。(回答者数=186)

1 内容までしっかり聞こえている	59.1%	4 聞いたことがない	12.9
2 音は聞こえてはいるが、内容はよくわからない	15.1	無回答	1.1
3 音は聞こえているが、一部は聞こえない	11.8		

↓  
問7へお進みください。

(問6で「1 内容までしっかり聞こえている」、「2 音は聞こえているが、内容はよくわからない」または「3 音は聞こえているが、一部は聞こえない」とお答えの方に)

→ 問6-1 あなたは、「下校時安全放送」の音量についてどう感じますか(○は1つだけ)。(回答者数=160)

1 聞こえにくいので もっと大きくしてほしい	14.4%	4 どちらともいえない	3.8
2 ちょうどよい音量だと思う	76.3	5 その他( )	1.3
3 うるさく感じる	4.4		

(問6で「1 内容までしっかり聞こえている」、「2 音は聞こえているが、内容はよくわからない」または「3 音は聞こえているが、一部は聞こえない」とお答えの方に)

問6-2 あなたは、「下校時安全放送」を聞いて児童の下校時間帯に見守り活動に参加したことがありますか(○は1つだけ)。(回答者数=160)

1 参加したことがある	3.8%	2 参加したことがない	95.0	無回答	1.3
-------------	------	-------------	------	-----	-----

問7 あなたは、「下校時安全放送」を放送することによって、区民の見守り意識の啓発の手段として、効果があると思いますか（〇は1つだけ）。（回答者数=186）

1	効果があると思う	63.4%	3	どちらともいえない	23.7
2	効果がないと思う	12.9			

「1 効果があると思う」と回答された方は問7-1へ、「2 効果がないと思う」と回答された方は問7-2へお進みください。

（問7で「1 効果があると思う」とお答えの方に）

問7-1 あなたは、「下校時安全放送」の放送回数について、週何回の放送にしたら、最も効果があると感じますか（〇は1つだけ）。（回答者数=118）

1	週1回	-	4	週4回	0.8
2	週2回（従来通り）	22.0%	5	週5回（学校がある日は毎日放送）	69.5
3	週3回	6.8		無回答	0.8

→問8へお進みください。

（問7で「2 効果がないと思う」とお答えの方に）

問7-2 あなたが「下校時安全放送」が見守り意識の啓発に効果がないと感じるのはなぜですか（〇は1つだけ）。（回答者数=24）

1	下校時安全放送が聞こえないから	20.8%
2	下校時安全放送を聞いても、見守り活動に参加しようと思わなかったから	45.8
3	その他（ ）	33.3

（問7で「2 効果がないと思う」とお答えの方に）

問7-3 あなたはどのような方法であれば、「下校時安全放送」に効果が出ると思えますか（〇は1つだけ）。（回答者数=24）

1	放送が聞こえるように音量を上げる	16.7%	3	放送内容を変更する	37.5
2	放送回数を増やす	-	4	その他（ ）	45.8



問8 あなたは、防災無線を活用した「下校時安全放送」の他に、どのような手段なら、児童の下校時に合わせて見守りができると思いますか(〇は1つだけ)。(回答者数=186)

1	メールでお知らせする	37.6%
2	町会や学校等で見守り当番を決める	34.9
3	その他( )	26.3
	無回答	1.1

問9 児童が安全に下校するための方法として、地域での子どもの見守り活動の他にどのようなことが効果的であると思いますか(ご自由にお書きください)。

問10 多数の質問にお答えいただきありがとうございました。最後におうかがいします。  
あなたは、今回のアンケートを実施することで、区政の改善につながると考えますか(〇は1つだけ)。(回答者数=186)

1	そう思う	53.8%	4	そう思わない	1.6
2	どちらかといえばそう思う	34.9		(理由: )	
3	どちらかといえばそう思わない	3.8	5	わからない	5.4
				無回答	0.5



知ると分かる。  
すると変わる。

SDGs MODEL ADACHI

